

令和6年度
第10回ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議
議事次第

*日時：令和7年1月23日（木）14：00～16：00（予定）

*場所：長崎労働局8階会議室

1 開会

2 座長挨拶

3 県内の雇用失業情勢について

4 議題

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に係る第二ステージの取組状況等
について

(各機関からの説明)

- ① 長崎労働局（職業安定部訓練課）
- ② 長崎県（産業労働部雇用労働政策課）
- ③ 長崎県（福祉保健部福祉保健課）
- ④ 長崎県（福祉保健部障害福祉課）
- ⑤ 長崎若者サポートステーション
- ⑥ 佐世保若者サポートステーション
- ⑦ 五島市（産業振興部商工雇用政策課）
- ⑧ 九州経済産業局（産業人材政策室）
- ⑨ その他の機関

5 令和7年度における就職氷河期世代等支援関連施策について

6 「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」の改定について

7 意見交換

8 閉会

※開催方法：対面・オンライン併用（Tele Office）

第10回 ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議
出席機関等名簿

区 分	構 成 員（機関・団体名）
経 済 団 体	長崎県商工会議所連合会
	長崎県中小企業団体中央会
	長崎県商工会連合会
支 援 団 体	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 長崎支部
	長崎若者サポートステーション
	佐世保若者サポートステーション
	社会福祉法人 長崎県社会福祉協議会
地 域	長崎県市長会
	長崎県町村会
	長崎市
	佐世保市
	五島市
行 政	九州経済産業局
	長崎労働局
	長崎県
オガザ-バー	長崎公共職業安定所
事 務 局	長崎労働局

ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領

1 趣旨

「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」（令和元年5月29日取りまとめ。）に基づき、長崎県内の関係機関を構成員とし、県内の就職氷河期世代活躍支援策の取りまとめ、進捗管理等を統括する「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「ながさきPF」という。）を設置する。

2 構成員

別紙1「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員」のとおりとする。
なお、必要に応じ、他の関係機関等からのヒアリングを行う。

3 各構成員役割

（1）行政側

① 長崎労働局（職業安定部）

- ・ながさきPFとりまとめ事務局（主担当）
- ・事業実施計画の策定とりまとめ（主担当）
- ・実施事業の進捗管理（主担当）
- ・各種支援策の周知、広報

② 長崎県（産業労働部）

- ・ながさきPFとりまとめ事務局（副担当）
- ・事業実施計画の策定とりまとめ（副担当）
- ・実施事業の進捗管理（副担当）
- ・各種支援策の周知、広報

③ 長崎県（福祉保健部）

- ・地域PFとの連絡調整
- ・地域PFの好事例の把握と展開
- ・各種支援策の周知、広報

④ 市町（長崎県市長会、長崎県町村会、長崎市、佐世保市、五島市）

- ・各種支援策の周知、広報
- ・その他就職氷河期世代の支援に係る施策の提案

⑤ 支援機関（ハローワーク、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長崎支部、サポステ、社会福祉協議会、県の就労支援施設等）

- ・専門窓口・専門チームによる就職等支援
- ・企業説明会・面接会の開催や職場実習・体験の機会の確保
- ・企業に対する正規雇用化を含む処遇改善の働きかけ、就職氷河期世代を対象とした

求人確保

- ・ 職業訓練の充実
- ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者への支援の充実
- ・ 支援対象者のハローワーク等就労支援機関への誘導
- ・ 各種支援策の周知広報
- ・ その他就職氷河期世代の支援に係る施策の提案

(2) 他の行政機関、経済団体、労働団体等

- ・ 企業に対する、就職氷河期世代を対象とした求人募集、積極的な採用、企業説明会・面接会の開催や職場実習・体験の機会の確保の働きかけ
- ・ 企業に対する人材育成の充実や正規雇用化を含む処遇改善の働きかけ
- ・ 就職氷河期世代の就労や社会参加に向けた相談支援
- ・ イベントや会報等での各種支援策等の周知広報
- ・ その他就職氷河期世代の支援に係る施策の提案

4 取組事項

次の事項について協議を行い、各構成員における取組を促進することとする。

(1) 気運醸成と各種支援策の周知広報

長崎県内の就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成し、各界が一体となって、積極的な採用、正規雇用化を含む処遇改善や社会参加への支援に結びつくような環境整備を図る。

また、就職氷河期世代本人やそのご家族等に対し、各構成員が有する様々なルートを通じて各種支援策の周知広報を図る。

(2) 支援対象者の把握

地域ごとに支援の対象となる以下の3種類の者に係る実態や支援ニーズの把握について、その手法等を検討する。

① 不安定な就労状態にある者

- ・ 正規雇用を希望しながら非正規雇用で働いている者
- ・ 前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する完全失業者

② 長期にわたり無業の状態にある者

- ・ 就業も求職活動も行っていない者のうち、家事も通学もしておらず、就業を希望している者

③ 社会参加に向けた支援を必要とする者（ひきこもり等）

- ・ ひきこもりの状態にある者、生活困窮に陥っている者など、就労支援だけでなく、福祉的な支援を必要としている者

(3) 目標、KPI（重要業績評価指標）の設定及び事業実施計画の策定

- ① 目標、KPIについては適切なものを検討の上、設定する。

②目標、KPIの達成に資する、事業実施計画を策定する。

③計画に基づく実施事業の進捗管理を行う。

詳細については厚生労働省により示される参考値等を踏まえ、策定する。

なお、計画期間の途中の段階で、到達すべき目安を設定し進捗管理を行う。

支援プランは、就職の実現だけでなく、多様な社会参加の実現を目指すものとし、「(1) 支援対象者の把握」に示す3種類のうち、社会参加に向けた支援を必要とする者については、個々人の状況に応じて息の長い継続的な支援を行う必要があることに留意し、地域PFの多様な社会参加の実現に向けた取組を支援する。

(4) 地域PFとの連携

長崎県は、地域PFの事務局を所管する部局と連絡調整を図り、地域PFとの情報共有と広域的課題の対応を行う。

- ・ 県レベルの経済団体への対応依頼（福祉からの受入先の開拓、雇用にあたっての必要な配慮）
- ・ 経済団体、他の地域等とのつながり作りの支援
- ・ 地域PFの好事例の周知等

5 ながさきPFの会議運営

(1) 上記の協議を行うため、原則として年2回以上協議の場を設けることとするが、この他、必要に応じて開催することができるものとする。

(2) ながさきPFに座長を置き、長崎労働局職業安定部長をもって充てる。

なお、座長は会務を総理し、会議の議事を運営する。

6 秘密の保持

ながさきPFの構成員及び協議の場に参加した者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

附則

本設置要領は、令和2年6月29日から施行する。

令和4年2月3日（一部改正）

ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員

区 分	構 成 員 (機 関 ・ 団 体 名)
経済団体	長崎県経営者協会
	長崎県商工会議所連合会
	長崎県中小企業団体中央会
	長崎県商工会連合会
労働団体	日本労働組合総連合会 長崎県連合会
支援団体	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 長崎支部
	長崎若者サポートステーション
	佐世保若者サポートステーション
	社会福祉法人 長崎県社会福祉協議会
地 域	長崎県市長会
	長崎県町村会
	長崎市
	佐世保市
	五島市
行 政	九州経済産業局
	長崎労働局
	長崎県

ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン

令和2年 10月

(令和3年6月改定)

(令和5年2月改定)

ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム

目次

はじめに	1
1. ながさき就職氷河期世代活躍支援プランの計画期間及び進捗管理	3
2. 支援対象者	3
3. 長崎県の現状と目指すべき方向性	4
4. 目標、KPI 及び取組	6
(1) 不安定な就労状態にある方	6
(2) 長期にわたり無業の状態にある方	8
(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）	9
(4) 全支援対象者	11
5. ながさきPFと地域との連携	12
6. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業	12
7. その他	12
【別紙】 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧	14

はじめに

【第一ステージ】

- いわゆる就職氷河期世代（概ね1993年（平成5年）～2004年（平成16年）に学校卒業期を迎えた世代を指す。以下同じ。）は、現在、30代半ばから40代後半（2020年4月1日現在、大卒で概ね38歳～49歳、高卒で概ね34歳～45歳）に至っている。雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けて支援を必要とする状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。

- このように、就職氷河期世代への支援は喫緊の課題であることから、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2019」（令和元年6月21日閣議決定。）において、就職氷河期世代の活躍促進に向けた取組をとりまとめるとともに、厚生労働省においても、厚生労働大臣を本部長とする「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部」において、「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」（令和元年5月29日とりまとめ。以下「支援プラン」という。）を策定し、就職氷河期世代が抱える固有の課題や今後の人材ニーズを踏まえつつ、個々人の状況に応じた支援により、正規雇用化をはじめとして、同世代の活躍の場を更に広げられるよう、3年間で集中的に取り組むこととした。

- 長崎県においては、支援プランに基づき、県内の関係機関を構成員とし、県内の就職氷河期世代の活躍支援策をとりまとめ、進捗管理等を統括する「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「ながさきPF」という。）を令和2年6月29日に設置した。
ついては、ながさきPFにおいて「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」（以下「ながさき支援プラン」という。）を策定するとともに、就職氷河期世代の方々が活躍の場を更に広げるために、県内の社会気運を醸成し、好事例の横展開を図りつつ、各界が一体となって、ながさき支援プランに基づく各取組を継続的に推進している。

【第二ステージ】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、就職氷河期世代の方々を巡る雇用情勢は厳しい状況となったが、政府の支援策は就職氷河期世代の方々の正規雇用者数の増加に寄与した。
一方、正規雇用から失業に転じる方々も生じるなど、施策の効果が相殺された側面もあると考えられ、正規雇用者数は伸び悩んだ。このため、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2022」（令和4年6月7日閣議決定。）において、令和4年度までの3年間の集中取組期間を「第一ステージ」と捉え、令和5年度からの2年間の「第二ステージ」と位置付け、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効

率的な支援に取り組み、成果を積み上げ、就職氷河期世代への支援をさらに進めていくこととしている。

- 長崎県においては、第二ステージも引き続き、ながさきPFを継続するとともに、各界が一体となって、個々人の状況に合わせたより丁寧な支援に取り組むため、ながさき支援プランを改定し、これに基づく各取組を継続的に推進していくこととする。

1. ながさき就職氷河期世代活躍支援プランの計画期間及び進捗管理

【第一ステージ】

- ながさき支援プランの計画期間は、令和2年10月26日～令和5年3月31日までとする。

【第二ステージ】

- ながさき支援プランの計画期間は、令和5年4月1日～令和7年3月31日までとする。
- ながさき支援プランの着実かつ効果的な推進を図るため、個々の取組や進捗状況をながさきPF事務局にて把握し、ながさきPF会議において共有するとともに、取組の進捗を踏まえた今後の施策展開の方向性等を協議する。
なお、その進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画内容を見直すこともあり得る。

2. 支援対象者

- ながさき支援プランは、次の①～③に掲げる方々を支援対象者とする。
支援に当たって、就労を希望される方には、正社員化及び正社員就職の実現を目指すものである。
なお、個々人の希望や意欲・能力に応じた雇用形態や待遇の実現及び社会参加へ向けて支援することや、①～③の類型にかかわらず各支援機関が連携して取り組むことが重要である点に留意する必要がある。
 - ①不安定な就労状態にある方
 - ・ 正規雇用を希望しながら非正規雇用で働いている方
 - ・ 前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する失業中の方など
 - ②長期にわたり無業の状態にある方
 - ・ 無業の方のうち求職活動をしていない方で、家事も通学もしていない方など
 - ③社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方など）
 - ・ ひきこもりの状態にある方、生活困窮に陥っている方など、就労支援だけでなく、保健医療や福祉的な支援を必要としている方

3. 長崎県の現状と目指すべき方向性

- 長崎県内における支援対象者の現状については、総務省の「就業構造基本統計調査（2017年）」を基にした推計¹によると①不安定な就労状態にある方（35～44歳）5,300人（人口比3.3%）、②長期にわたり無業の状態にある方（35～44歳）は4,257人（人口比2.7%）と推計され、全国平均（人口比各3.1%、2.3%）より高い状況にある。③社会参加に向けた支援を必要とする方については、内閣府が実施した調査結果²から推計すると、本県の15歳から64歳のひきこもりの方は、約1万人に上る。

- これらの方々の当面の目標として考えられることは、働くことや社会参加など多様である。
また、生活の基盤を置く地域の実情も多様であることから、個々人の状況に応じた支援メニューを積極的に届けていかなければならない。そのためには、当事者やその家族の置かれている状況やニーズをしっかりと受け止めるという姿勢を、社会全体に浸透させるよう取り組んでいくことが不可欠である。

- 支援対象者である「不安定な就労状態にある方」、「長期にわたり無業の状態にある方」、「社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）」は明確に区分できない場合も想定される。
また、その状態も時とともに変化していくものであることから、当事者とその家族を中心とした柔軟な支援を行うためには、関係機関が連携して、多様で複合的な課題やニーズに対応する必要がある。

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業活動及び雇用への一定の影響が生じることが懸念されており、特に、急激な事業変動の影響を受けやすい①不安定な就労状態にある方については、その解雇・雇止めにより、生活の基盤となる職場を失うおそれがあるとともに、②長期にわたり無業の状態にある方や③社会参加に向けた支援を必要とする方についても、応募機会が少なくなることなどが危惧される。

¹ 総務省「就業構造基本統計調査（2017年）」

JILPT「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③」

・「不安定な就労状態にある方」：現在非正規雇用で働いており、かつ、現在の雇用形態に就いている理由について「主に正規の職員・従業員の仕事がないから」と答えた者

・「長期にわたり無業の状態にある方」：非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。就業構造基本統計調査の公表値ではないため、JILPTが特別集計したデータを利用している。

² 平成27年12月 内閣府「若者の生活に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」
平成30年12月 内閣府「ひきこもりに関する調査」
上記調査結果を基に、県内人口で按分

今後の雇用情勢の変化に留意しながら、第二の就職氷河期世代を作らないための取組等とあわせて、社会全体で支援対象者を支える気運を醸成していくことが重要である。

- これらを踏まえ、就労や処遇の改善、社会参加を促す中で、必要な人に必要な支援が届く体制を構築するために、ながさきPFは、他の関係機関とも連携して取り組んでいくこととする。

4. 目標、KPI³及び取組

(1) 不安定な就労状態にある方

① 第一ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について、現状よりも良い処遇を目指すため、支援対象者の正規雇用者数を 3,000 人⁴増やすことを目標とする。

【KPI】

項 目	KPI
ハローワーク紹介による正社員就職件数	2,400件
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	600人

② 第二ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

第一ステージの状況を踏まえ、正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について、引き続き正規雇用者数を目標とする。

【KPI】

項 目	KPI
ハローワーク紹介による正社員就職件数	2,000件
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	160人

【取組】

(相談体制の充実)

- ハローワーク長崎に、専門窓口として「就職氷河期世代支援コーナー」を設置し、専門アドバイザー等で構成するチームによる個別支援のマッチング促進及び職場定着を図る。

【労働局】

- 県人材活躍支援センターにおいて、就職支援員による就職支援のためのカウンセリングや、採用力向上支援員による就職氷河期世代対象の求人開拓及び企

³ KPI：重要業績評価指標（Key Performance Indicator）の略。目標の進捗を把握するための指標。

⁴ 総務省「就業構造基本統計調査（2017年）」等より
「不安定な就労状態にある方」長崎県 5,300 人 / 全国 541,700 人 × 100 ÷ 1.0%
30 万人（国の目標） × 1.0% = 3,000 人（長崎県の 3 年間の目標）

業向けセミナー等の支援を行う。

【長崎県産業労働部】

- 概ね44歳以下の若者を対象とする「フレッシュワーク」において、カウンセリングや適職診断等のサービスを提供する。

【労働局、長崎県産業労働部】

(職業訓練の実施・強化、スキルアップ支援)

- 短期間で資格取得可能な就職氷河期世代の方向けの「短期資格等習得コース」等の個々人のニーズに応じた公共職業訓練に関する情報提供、アドバイス及び受講あっせんを行う。

【労働局（第一ステージをもって終了）】

- 離職者、求職者、在職者それぞれのニーズに対応し、安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公共職業訓練の実施等によるスキルアップや新たなキャリアへの挑戦を支援する。

なお、訓練コース等の設定に当たっては、正社員就職のために資する内容とするよう配慮する。

【労働局、長崎県産業労働部、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構】

(就職、正社員への転換支援)

- 支援対象者に対するマッチングイベント（企業の説明会、就職面接会、職場見学会、セミナー等）を開催（後援・共催を含む）する。

【九州経済産業局、労働局】

- 就職氷河期世代の非正規雇用労働者の正規雇用促進を図るため、拡充されたトライアル雇用助成金や特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）等の周知及び活用促進に連携して取り組む。また、企業内での正社員転換等の取組を促進するため、キャリアアップ助成金や人材開発支援助成金等の周知及び活用促進に連携して取り組む。

【経済団体、労働局、長崎県産業労働部、長崎市商工部、佐世保市観光商工部】

- 就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）、マッチングイベント等の取組について、業界団体や企業等への要請を行うとともに、好事例の収集・提供など必要な支援を行う。

【労働局、長崎県産業労働部】

- 企業における就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、

職場定着支援など受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組を促進する。

【経済団体】

- 就職氷河期世代を対象とした正社員化を含む処遇改善等に係る働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会長崎県連合会】

(2) 長期にわたり無業の状態にある方

① 第一ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を中心に関係機関が連携し、職業的自立支援につなげることを目標とする。

【KPI】

項目	KPI
サポステの支援により就労等につながった割合	35%
サポステレベル ⁵ が上がった方のレベル数	300レベル

② 第二ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

第一ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする。

⁵ サポステレベル

レベル1：働くこととする意志はあるものの、働くことについてイメージができない。

レベル2：働くことについて漫然としたイメージしかできない。まだ明確な方向性を持つに至っていない。

レベル3：働くことについての方向性が見えていて、情報収集できる。しかし、就職に向けての行動には移せていない。

レベル4：働くことについての方向性が見えていて、就職に向けての行動に移すことができる。しかし、通常ハローワークが取り扱う求人への就職に向けて対応できない。

【KPI】

項 目	KPI
サポステ等による職場体験等先の確保数	30 件
職場体験等の実施件数	16 件
サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換会の実施回数)	各年度 4 回 (長崎・佐世保で各年度 2 回)

【取組】

(相談体制の充実)

- サポステの支援対象年齢を49歳まで広げるなどの機能強化を図り、専門相談員によるカウンセリング、セミナーの実施等により、支援対象者の職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

また、福祉関係機関（生活困窮者自立支援制度の自立相談支援機関（以下「自立相談支援機関」という。）、福祉事務所、ひきこもり地域支援センター等）等での出張相談において支援対象者を把握し、ハローワーク、フレッシュワーク、県人材活躍支援センター及び県子ども・若者総合相談センター（ゆめおす）等との連携により個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援につなげる。

【労働局、長崎県産業労働部・福祉保健部】

- サポステ拠点のない地域での巡回相談やサポステプログラムに参加する支援対象者への旅費支援を行い、支援対象者のサポステ利用を促進する。

【長崎県産業労働部】

(職場体験・見学、就労に向けた支援)

- 支援対象者に対するイベント（就職準備セミナー、職場見学・体験等）を開催する。

【労働局、長崎県産業労働部・福祉保健部】

- 長期にわたり無業の状態にある方に係る職場定着支援など受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例の収集・提供など必要な支援を行う。

【労働局、長崎県産業労働部・福祉保健部】

- 長期にわたり無業の状態にある方に係る職場定着支援など、企業における受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組を推進する。

【経済団体】

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）

- ① 第一ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

当事者やその家族の希望に応じ、地域における居場所の整備、その他対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりが生まれることを目標とする。

【KPI】

項 目	KPI
県内全市町での地域 PF の設置	21市町

② 第二ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

ひきこもりの状態にある方やその家族が容易に相談できる体制を明確化することで、福祉的な支援を通じ、当人の社会参加につなげることを目標とする。

【KPI】

項 目	KPI
県内全市町でのひきこもり相談窓口の明確化及び周知	21市町

【取組】

(相談支援体制の充実)

- ひきこもり状態にある方やその家族が、お住まいの地域で容易に相談できる環境を整備するために、市町での相談窓口を明確化した上で、広報等により住民への周知を図る。
【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会】
- ひきこもりの状態にある方やその家族からの相談等に対応するため、各地域におけるひきこもり支援協議会等の既存の会議体等と、支援に係る関係者間の情報共有や個別支援課題の検討を行う。
【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会】
- 地域の活動活性化のため、好事例の横展開などの積極的な協力を行う。
【長崎県福祉保健部、長崎県市長会、長崎県町村会】
- ひきこもり地域支援センターで、市町の窓口や関係機関と連携し、ひきこもり状態にある方やその家族への取組を支援する。
【長崎県福祉保健部】
- 自立相談支援機関に、訪問による相談支援を行うアウトリーチ支援員を配

置するなど、ひきこもり家庭に対する訪問支援体制を強化する。

【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会】

- 安心できる居場所づくりや家族教室、相談会の開催など、本人や家族の状況に合わせた支援を行う。

【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会】

(相談支援に係る人材の育成、資質向上)

- ひきこもり地域支援センターによる支援者向けの研修会などにより、支援に係る人材の育成、資質の向上を図る。

【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会】

(職場体験・見学、就労に向けた支援)

- 社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例等の収集・提供など必要な支援を行う。

【労働局、長崎県産業労働部・福祉保健部】

- 社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備に係る取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をながさき PF に提案する。

【経済団体】

- 社会参加に向けた支援を必要とする方に係る受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等への取組について働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会長崎県連合会】

(4) 全支援対象者

【取組】

- ながさき PF の取組や活動等について、市町や各団体の構成企業・団体等に積極的に周知・啓発を行うことにより、社会全体で就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る。

【全構成員】

- 就職氷河期世代の方の就労意欲や企業の採用意欲の向上等を図るため、それらの方々を対象とした就職氷河期世代活躍支援講演会を開催する。

【長崎労働局（第一ステージをもって終了）】

- 支援対象者が抱える課題や希望等を把握するとともに、県内企業の就職氷河期

世代採用意向を確認するため、アンケート等による実態調査を実施する。

【長崎県産業労働部（第一ステージをもって終了）】

- 支援対象者一人ひとりに各種施策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、あらゆる手段（メディア、SNS、WEB、イベント開催等）を活用し、家族、関係者も含め効果的に伝わる周知・広報策を展開する。

【全構成員】

5. ながさきPFと地域との連携

- ながさきPFは、地域の効果的かつ円滑な運営のために、地域からの支援要請に対して適切に対応するとともに、好事例等の就職氷河期世代支援に関する情報についてはこれを共有し、双方緊密な連携を図ることとする。

6. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業

- 長崎県又は長崎県内市町が実施する「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」の事業内容については、別紙「地域就職氷河期世代支援加速化交付金一覧」のとおりとする。

- 別紙「地域就職氷河期世代支援加速化交付金一覧」への追記又は変更を行なう場合は、次のいずれかの方法によることとする。

- ① 長崎県から、事前にながさきPF構成員の包括的な承認を得た上で、同交付金の追加・変更申請時に別紙を修正するとともに、当該構成員にその修正内容を通知することで、ながさき支援プランの改定が行なわれたものとする。
- ② 長崎県から、同交付金の追加・変更申請時ごとに、持ち回りなどの手続により、ながさきPF構成員にその修正内容の承認を得ることで、ながさき支援プランの改定を行なう。

7. その他

- ながさき支援プランの実施に当たり、課題、疑義等が生じた場合は、ながさきPF内の構成員で協議を行うとともに、関係機関に対しても情報共有を行うこととする。

ながさき支援プランについては、毎年度の実施状況を踏まえた見直しを行うことがある。

なお、ながさき支援プランの記載のうち、長崎労働局及び長崎県の取組にかか

る記載については、今後の予算審議等の状況により修正・変更等があり得る。

(改定)

- 令和3年6月23日 ・【別紙】地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧にNo.2の事業を追記。
- 令和5年2月28日 ・ながさき支援プランに計画期間の延長及び諸処の修正・追記。
・「第二ステージ」における各目標・KPIについて追記。
・【別紙】地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧に【第二ステージ】における計画期間及び計画内容について追記。

【別紙】

地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

No.	実施主体	事業名	事業の概要	計画期間
第一ステージ				
1	長崎県	就職氷河期世代人材マッチング事業	県人材活躍支援センターを中心に、地域若者サポートステーションと連携した就職氷河期世代の県内就職支援及び正規雇用への転換を促進するための事業を実施。	R2～R4 年度
2	五島市	就職氷河期世代就労支援事業	就職氷河期世代の実態把握のためのアンケート調査及びキャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。	R3～R4 年度
第二ステージ				
1	長崎県	就職氷河期世代人材マッチング事業	県人材活躍支援センターを中心に、地域若者サポートステーションと連携した就職氷河期世代の県内就職支援及び正規雇用への転換を促進するための事業を実施。	R5～R6 年度
2	五島市	就職氷河期世代就労支援事業	キャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。	R5～R6 年度

令和6年12月27日（金）

長崎労働局職業安定部

職業安定課長 松尾 伸二

地方労働市場情報官 福見 千隆

電話 095-801-0040

長崎県の雇用失業情勢（令和6年11月分）について

- 1 令和6年11月の有効求人倍率（受理地別）は1.19倍で、前月から0.01ポイント低下（↓）
- 2 令和6年11月の新規求人倍率（受理地別）は1.82倍で、前月から0.11ポイント低下（↓）
- 3 現下の雇用失業情勢は、求人が求職を上回る中で、求人の持ち直しの動きが続いているが、物価上昇等が今後の雇用に与える影響を注視する必要がある。（→）

1 有効求人倍率は、2か月振りに1.1倍台

令和6年11月の有効求人倍率（季節調整値）は1.19倍となり、前月比0.01ポイント下回った。

- ① 月間有効求人数（季節調整値）は26,614人で、前月比0.3%増加。
- ② 月間有効求職者数（同）は22,404人で、前月比1.7%増加。

2 新規求人倍率は、51か月連続1.5倍以上

令和6年11月の新規求人倍率（季節調整値）は1.82倍となり、前月から0.11ポイント下回った。

- ① 新規求人数（季節調整値）は8,979人で、前月比6.3%減少。
- ② 新規求職者数（同）は4,947人で、前月比0.2%減少。

3 新規求人数（原数値）は、前年同月比2か月振りの減少

- ① 新規求人数（原数値）は8,803人で、前年同月比6.3%減少。
- ② 雇用形態別では、フルタイム求人が5.1%減少、パートタイム求人が8.6%減少。

主な産業	新規求人数	前年同月比	ポイント
建設業	860人	4.1%	3か月振りの増加
製造業	763人	▲23.9%	2か月振りの減少
運輸業・郵便業	541人	19.2%	4か月連続の増加
卸売業・小売業	915人	▲18.7%	4か月連続の減少
宿泊業・飲食サービス業	450人	▲22.0%	7か月連続の減少
生活関連サービス業・娯楽業	223人	▲3.9%	2か月振りの減少
医療・福祉	3,212人	▲1.1%	2か月振りの減少
その他のサービス業 （労働者派遣業、警備業等）	882人	▲7.9%	2か月振りの減少

4 新規求職者数（原数値）は、前年同月比2か月連続の減少

新規求職者数（原数値）は4,180人で、前年同月比2.4%減少。

- ① 雇用形態別では、フルタイム求職者（同）が5.4%減少、パート求職者（同）は2.4%増加。
- ② 男女別（同）では、男性が0.7%減少、女性が3.5%減少。
- ③ 新規常用求職者の求職時の状況（同）では、離職者が6.1%減少、在職者が4.2%増加、無業者が1.1%増加。

5 正社員の有効求人倍率（原数値）は1.13倍となり、前年同月比0.01ポイント上回った。

6 安定所別有効求人倍率（原数値）は、対馬所の1.63倍が最も高く、江迎所の0.94倍が最も低い。

新規求人の動向（令和6年11月分）

【新規求人（原数値）が前年同月比で増加している主な産業と要因】

建設業（4.1%増）は、3か月振りの増加

要因：佐世保管轄の建設業からの求人が増加
大 村管轄の建設業からの求人が増加
島 原管轄の建設業からの求人が増加
五 島管轄の建設業からの求人が増加

運輸業・郵便業（19.2%増）は、4か月連続の増加

要因：長 崎管轄の道路貨物運送業からの求人が増加

【新規求人（原数値）が前年同月比で減少している主な産業と要因】

製造業（23.9%減）は、2か月振りの減少

要因：長 崎管轄の食料品、繊維、金属製品、輸送用機械器具製造業からの求人が減少
諫 早管轄の電子部品・デバイス・電子回路製造業からの求人が減少
島 原管轄の食料品、繊維製造業からの求人が減少
江 迎管轄の窯業・土石製品、輸送用機械器具製造業からの求人が減少

卸売業・小売業（18.7%減）は、4か月連続の減少

要因：長 崎管轄の卸売業・小売業からの求人が減少
佐世保管轄の卸売業からの求人が減少
大 村管轄の卸売業・小売業からの求人が減少

宿泊業・飲食サービス業（22.0%減）は、7か月連続の減少

要因：長 崎管轄の宿泊業・飲食サービス業からの求人が減少
諫 早管轄の宿泊業からの求人が減少

生活関連サービス業・娯楽業（3.9%減）は、2か月振りの減少

要因：長 崎管轄の生活関連サービス業からの求人が減少
五 島管轄の生活関連サービス業からの求人が減少

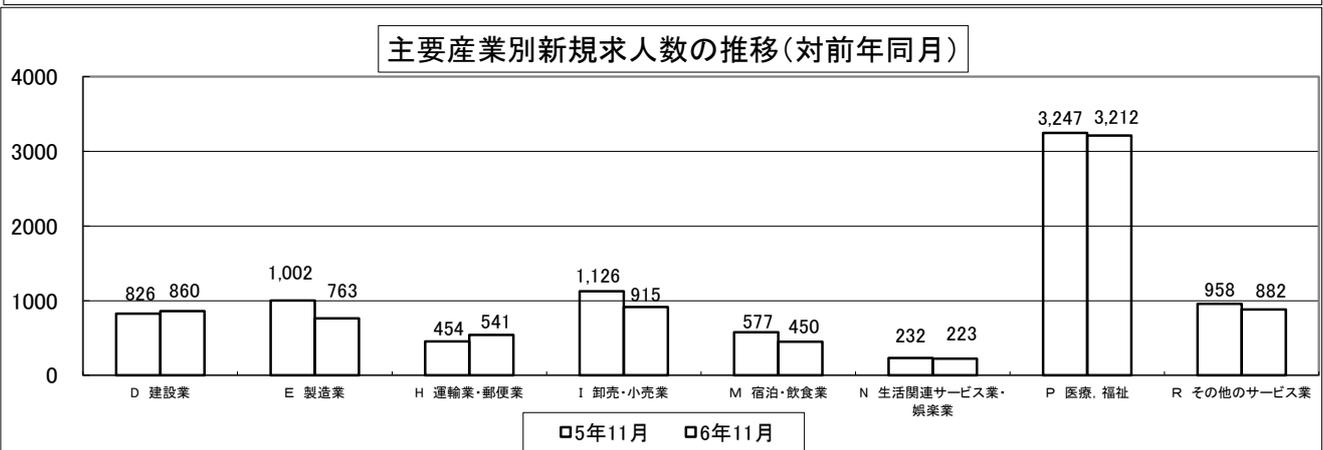
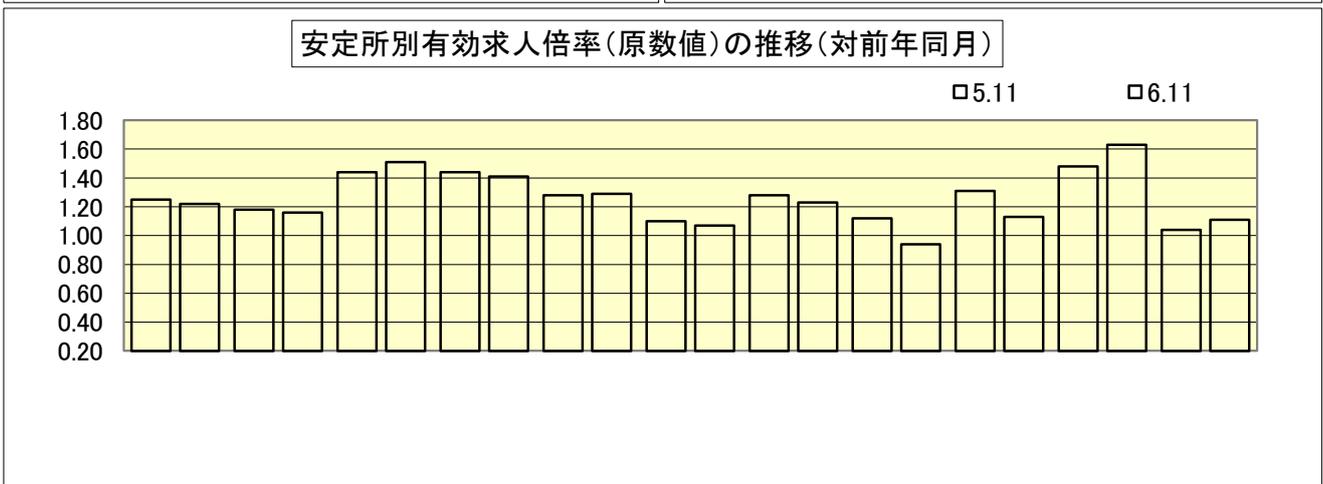
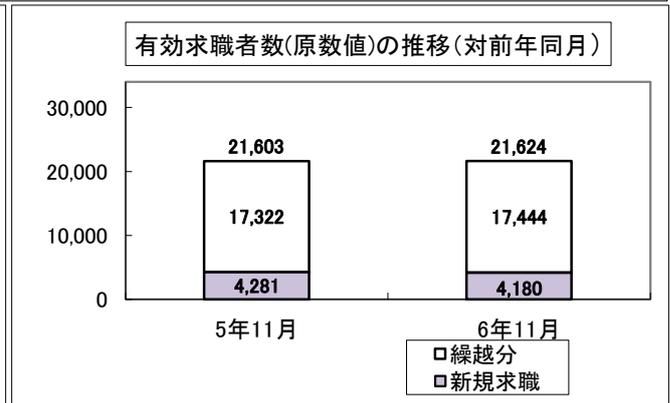
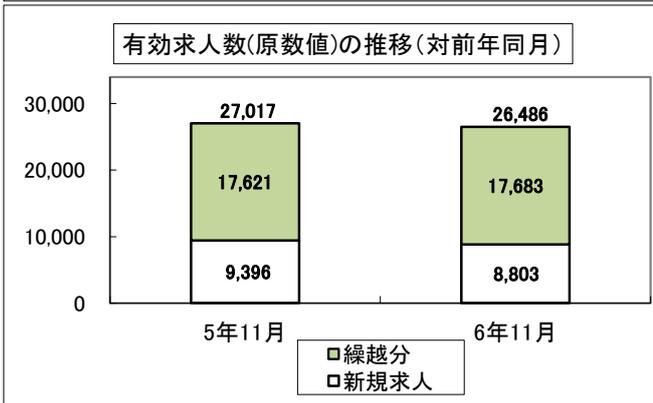
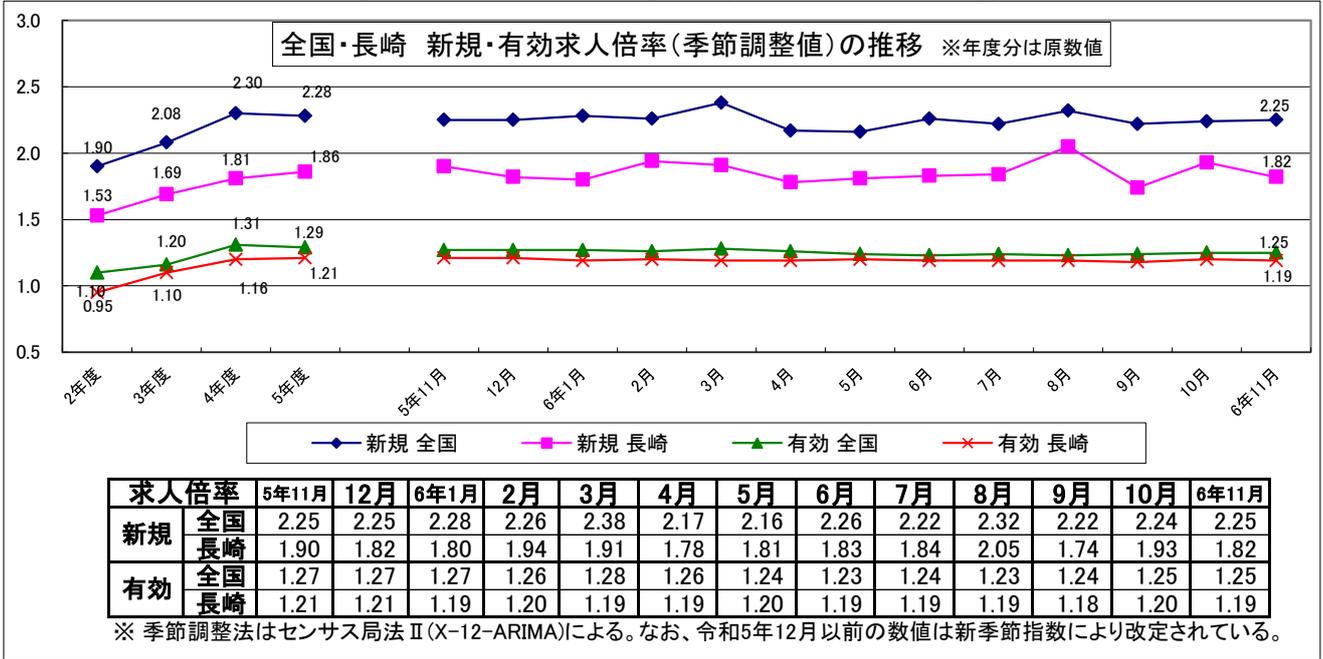
医療・福祉（1.1%減）は、2か月振りの減少

要因：長 崎管轄の社会福祉・介護事業からの求人が減少
佐世保管轄の社会福祉・介護事業からの求人が減少

その他のサービス業（労働者派遣業、警備業等）（7.9%減）は、2か月振りの減少

要因：長 崎管轄のその他の事業サービス業からの求人が減少

長崎県の雇用失業情勢 (令和6年11月分)



労働市場の動向 令和6年11月分

長崎労働局職業安定部職業安定課

本月の有効求人倍率（季節調整値）は1.19倍で、2ヶ月振りに1.1倍台となった。

項目	年 月	年 月			前年同月比 *前月比	参考事項
		6年 11月	6年 10月	5年 11月		
全 数	1 月間有効求職者数 (人)	21,624	22,200	21,603	0.1	7ヶ月振りに前年比 増
	季節調整値	22,404	22,028	22,380	* 1.7	
	2 新規求職申込件数 (人)	4,180	5,029	4,281	▲2.4	2ヶ月連続で前年比 減
	季節調整値	4,947	4,956	5,035	* ▲0.2	
	3 月間有効求人数 (人)	26,486	26,794	27,017	▲2.0	13ヶ月連続で前年比 減
	季節調整値	26,614	26,523	27,161	* 0.3	
	4 新規求人数 (人)	8,803	10,273	9,396	▲6.3	2ヶ月振りに前年比 減
	季節調整値	8,979	9,585	9,573	* ▲6.3	
	5 紹介件数 (件)	3,961	4,683	4,327	▲8.5	4ヶ月連続で前年比 減
	6 就職件数 (件)	1,608	1,815	1,813	▲11.3	4ヶ月連続で前年比 減
	7 充足数 (件)	1,494	1,716	1,701	▲12.2	4ヶ月連続で前年比 減
8 有効求人倍率 (3/1) (倍)	1.22	1.21	1.25	▲0.03		
季節調整値	1.19	1.20	1.21	* ▲0.01		
9 新規求人倍率 (4/2) (倍)	2.11	2.04	2.19	▲0.08		
季節調整値	1.82	1.93	1.90	* ▲0.11		
10 就職率 (6/2×100) (%)	38.5	36.1	42.3	▲3.8		
11 充足率 (7/4×100) (%)	17.0	16.7	18.1	▲1.1		
パ ー ト を 除 く 全 数	1 月間有効求職者数 (人)	12,291	12,636	12,640	▲2.8	
	2 新規求職申込件数 (人)	2,462	2,950	2,603	▲5.4	
	3 月間有効求人数 (人)	17,153	17,322	17,335	▲1.0	
	4 新規求人数 (人)	5,844	6,292	6,158	▲5.1	
	5 紹介件数 (件)	2,269	2,732	2,600	▲12.7	
	6 就職件数 (件)	888	1,011	1,008	▲11.9	
	7 充足数 (件)	813	946	959	▲15.2	
	8 有効求人倍率 (3/1) (倍)	1.40	1.37	1.37	0.03	
	9 新規求人倍率 (4/2) (倍)	2.37	2.13	2.37	0.00	
	10 就職率 (6/2×100) (%)	36.1	34.3	38.7	▲2.6	
パ ー ト タ イ ム 全 数	1 月間有効求職者数 (人)	9,333	9,564	8,963	4.1	
	2 新規求職申込件数 (人)	1,718	2,079	1,678	2.4	
	3 月間有効求人数 (人)	9,333	9,472	9,682	▲3.6	
	4 新規求人数 (人)	2,959	3,981	3,238	▲8.6	
	5 紹介件数 (件)	1,692	1,951	1,727	▲2.0	
	6 就職件数 (件)	720	804	805	▲10.6	
	7 充足数 (件)	681	770	742	▲8.2	
	8 有効求人倍率 (3/1) (倍)	1.00	0.99	1.08	▲0.08	
	9 新規求人倍率 (4/2) (倍)	1.72	1.91	1.93	▲0.21	
	10 就職率 (6/2×100) (%)	41.9	38.7	48.0	▲6.1	

※ 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和5年12月以前の数値は新季節指数により改定されている。

※ ▲はマイナス。

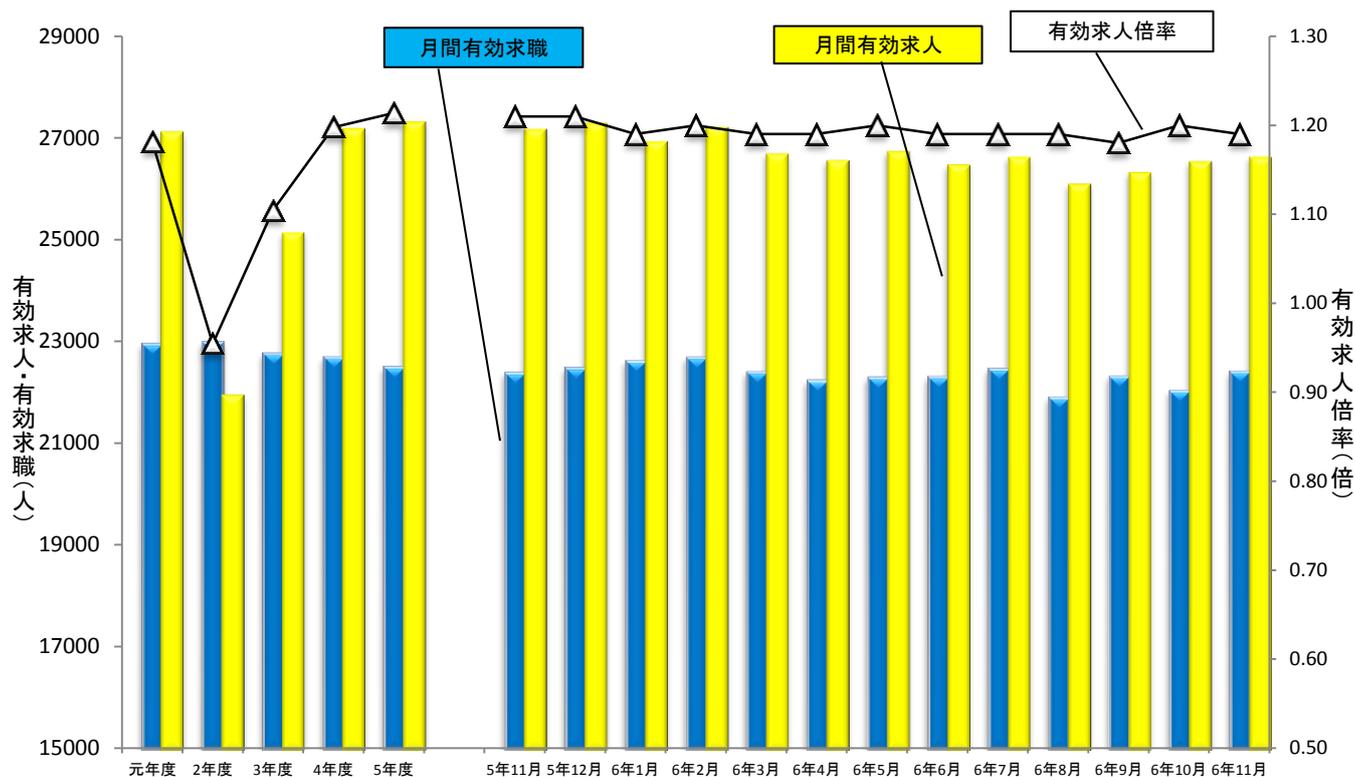
パートを含む常用

項 目		年 月	6年	6年	5年	前年同月比	参考事項
			11月	10月	11月		
求職時の状況	離職者 (人)		2,416	3,086	2,574	▲6.1	
	うち事業主都合 (人)		453	624	456	▲0.7	
	うち自己都合 (人)		1,838	2,297	1,982	▲7.3	
	在職者 (人)		1,301	1,425	1,249	4.2	
	無業者 (人)		443	492	438	1.1	
⑤ 受給者	1 月間有効求職者数 (人)		7,676	8,209	7,948	▲3.4	6ヶ月連続で前年比 減
	2 新規求職申込件数 (人)		934	1,257	956	▲2.3	
	3 紹介件数 (件)		1,074	1,196	1,147	▲6.4	
	4 就職件数 (件)		485	524	575	▲15.7	
	5 就職率 (4/2×100) (%)		51.9	41.7	60.1	▲8.2	
55歳以上常用	1 月間有効求職者数 (人)		8,234	8,468	7,872	4.6	
	2 新規求職申込件数 (人)		1,569	1,916	1,513	3.7	
	3 月間有効求人人数 (人)		4,713	4,782	4,752	▲0.8	
	4 紹介件数 (件)		1,283	1,500	1,294	▲0.9	
	5 就職件数 (件)		503	539	537	▲6.3	
	6 有効求人倍率 (3/1) (倍)		0.57	0.56	0.60	▲0.03	
	7 就職率 (5/2×100) (%)		32.1	28.1	35.5	▲3.4	
34歳以下常用	1 月間有効求職者数 (人)		5,319	5,436	5,635	▲5.6	
	2 新規求職申込件数 (人)		1,070	1,265	1,163	▲8.0	
	3 月間有効求人人数 (人)		10,336	10,409	10,616	▲2.6	
	4 就職件数 (件)		356	412	401	▲11.2	
	5 有効求人倍率 (3/1) (倍)		1.94	1.91	1.88	0.06	
	6 就職率 (4/2×100) (%)		33.3	32.6	34.5	▲1.2	
雇用保険	適用事業所数 (件)		24,714	24,715	24,897	▲0.7	
	被保険者数 (人)		356,817	356,546	359,773	▲0.8	57ヶ月連続で前年比 減
	資格取得件数 (件)		3,950	5,190	4,277	▲7.6	
	資格喪失件数 (件)		3,673	4,853	3,646	0.7	
	うち事業主都合 (件)		205	240	183	12.0	
	受給資格決定件数 (件)		1,107	1,540	1,177	▲5.9	
	受給者実人員 (人)		4,881	5,296	5,249	▲7.0	

全国の状況

項 目		年 月	6年	6年	5年	前年同月比 *前月比	参考事項
			11月	10月	11月		
全数	7 有効求人倍率 (倍)		1.30	1.27	1.32	▲0.02	
	季節調整値		1.25	1.25	1.27	* 0.00	
	8 新規求人倍率 (倍)		2.56	2.43	2.52	0.04	
	季節調整値		2.25	2.24	2.25	* 0.01	

1 求人、求職及び有効求人倍率の推移



(注) 1. 月別の数値は季節調整値である。

2. 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和5年12月以前の数値は、新季節指数により改定されている。

2 一般職業紹介状況(季節調整値)

(新規学卒者を除く)

年月	区分	月間有効求職者数		月間有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数		新規求人倍率	
		季節調整値	対前月比	季節調整値	対前月比	季節調整値	対前月増減差	季節調整値	対前月比	季節調整値	対前月比	季節調整値	対前月増減差
令和5年	11月	22,380	▲ 0.2	27,161	▲ 1.4	1.21	▲ 0.02	5,035	▲ 1.4	9,573	4.3	1.90	0.10
	12月	22,473	0.4	27,278	0.4	1.21	0.00	5,327	5.8	9,721	1.5	1.82	▲ 0.08
令和6年	1月	22,612	0.6	26,913	▲ 1.3	1.19	▲ 0.02	5,033	▲ 5.5	9,046	▲ 6.9	1.80	▲ 0.02
	2月	22,678	0.3	27,198	1.1	1.20	0.01	5,142	2.2	9,966	10.2	1.94	0.14
	3月	22,392	▲ 1.3	26,674	▲ 1.9	1.19	▲ 0.01	5,144	0.0	9,804	▲ 1.6	1.91	▲ 0.03
	4月	22,231	▲ 0.7	26,542	▲ 0.5	1.19	0.00	5,179	0.7	9,210	▲ 6.1	1.78	▲ 0.13
	5月	22,283	0.2	26,722	0.7	1.20	0.01	5,251	1.4	9,483	3.0	1.81	0.03
	6月	22,297	0.1	26,456	▲ 1.0	1.19	▲ 0.01	4,852	▲ 7.6	8,863	▲ 6.5	1.83	0.02
	7月	22,455	0.7	26,611	0.6	1.19	0.00	5,089	4.9	9,343	5.4	1.84	0.01
	8月	21,898	▲ 2.5	26,078	▲ 2.0	1.19	0.00	4,566	▲ 10.3	9,382	0.4	2.05	0.21
	9月	22,312	1.9	26,308	0.9	1.18	▲ 0.01	5,349	17.1	9,323	▲ 0.6	1.74	▲ 0.31
	10月	22,028	▲ 1.3	26,523	0.8	1.20	0.02	4,956	▲ 7.3	9,585	2.8	1.93	0.19
11月	22,404	1.7	26,614	0.3	1.19	▲ 0.01	4,947	▲ 0.2	8,979	▲ 6.3	1.82	▲ 0.11	

(注) 1. 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和5年12月以前の数値は、新季節指数により改定されている。

2. ▲は減少である。

3 産業別一般新規求人状況

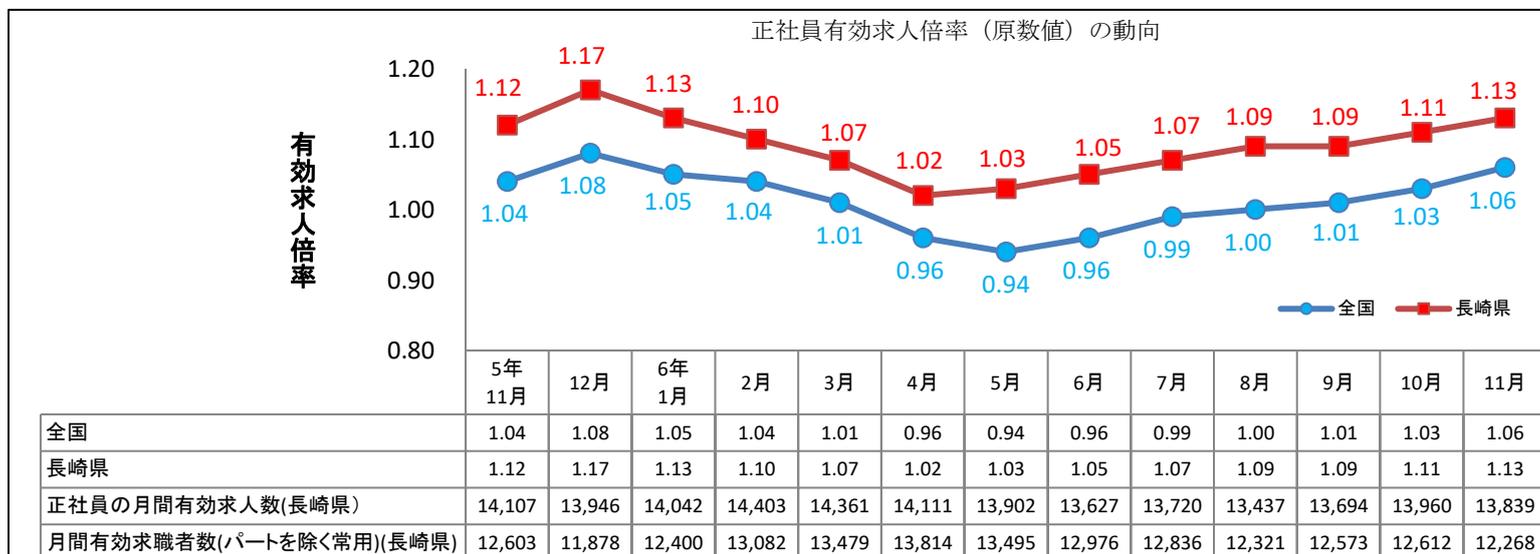
(新規学卒者を除く)

産業	令和6年11月	令和6年10月	令和5年11月	対前月差 (対前月比)	対前年同月差 (対前年同月比)
合計	8,803	10,273	9,396	▲ 1,470 (▲ 14.3)	▲ 593 (▲ 6.3)
A, B農, 林, 漁業(01~04)	59	91	97	▲ 32 (▲ 35.2)	▲ 38 (▲ 39.2)
C鉱業, 採石業, 砂利採取業(05)	13	12	13	1 (8.3)	0 (0.0)
D建設業(06~08)	860	867	826	▲ 7 (▲ 0.8)	34 (4.1)
E製造業(09~32)	763	835	1,002	▲ 72 (▲ 8.6)	▲ 239 (▲ 23.9)
09食料品製造業	187	211	251	▲ 24 (▲ 11.4)	▲ 64 (▲ 25.5)
11繊維工業	23	43	65	▲ 20 (▲ 46.5)	▲ 42 (▲ 64.6)
21窯業・土石製品製造業	28	36	41	▲ 8 (▲ 22.2)	▲ 13 (▲ 31.7)
24金属製品製造業	86	56	98	30 (53.6)	▲ 12 (▲ 12.2)
25はん用機械器具製造業	78	87	74	▲ 9 (▲ 10.3)	4 (5.4)
28電子部品・デバイス・電子回路製造業	16	17	78	▲ 1 (▲ 5.9)	▲ 62 (▲ 79.5)
29電気機械器具製造業	18	37	28	▲ 19 (▲ 51.4)	▲ 10 (▲ 35.7)
30情報通信機械器具製造業	4	1	4	3 (300.0)	0 (0.0)
28,30ハードウェア製造関係	20	18	82	2 (11.1)	▲ 62 (▲ 75.6)
31輸送用機械器具製造業	236	277	256	▲ 41 (▲ 14.8)	▲ 20 (▲ 7.8)
F電気・ガス・熱供給・水道業 (33~36)	11	3	7	8 (266.7)	4 (57.1)
G情報通信業(37~41)	132	250	152	▲ 118 (▲ 47.2)	▲ 20 (▲ 13.2)
H運輸業, 郵便業(42~49)	541	485	454	56 (11.5)	87 (19.2)
I卸売業, 小売業(50~61)	915	1,165	1,126	▲ 250 (▲ 21.5)	▲ 211 (▲ 18.7)
J金融業, 保険業(62~67)	30	50	49	▲ 20 (▲ 40.0)	▲ 19 (▲ 38.8)
K不動産業, 物品賃貸業(68~70)	105	113	117	▲ 8 (▲ 7.1)	▲ 12 (▲ 10.3)
L学術研究, 専門・技術サービス業(71~74)	330	450	174	▲ 120 (▲ 26.7)	156 (89.7)
M宿泊業, 飲食サービス業(75~77)	450	576	577	▲ 126 (▲ 21.9)	▲ 127 (▲ 22.0)
N生活関連サービス業, 娯楽業(78~80)	223	402	232	▲ 179 (▲ 44.5)	▲ 9 (▲ 3.9)
O教育, 学習支援業(81, 82)	94	157	138	▲ 63 (▲ 40.1)	▲ 44 (▲ 31.9)
P医療, 福祉(83~85)	3,212	3,442	3,247	▲ 230 (▲ 6.7)	▲ 35 (▲ 1.1)
Q複合サービス事業(86, 87)	62	185	74	▲ 123 (▲ 66.5)	▲ 12 (▲ 16.2)
Rサービス業(他に分類されないもの)(88~96)	882	1,028	958	▲ 146 (▲ 14.2)	▲ 76 (▲ 7.9)
S, T公務(他に分類されるものを除く)・その他(97,98,99)	121	162	153	▲ 41 (▲ 25.3)	▲ 32 (▲ 20.9)

令和6年4月以降については令和5年7月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分、令和6年3月以前については平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分により表章したもの

*H運輸業, 郵便業, I卸売業, 小売業, Rサービス業(他に分類されないもの)の令和6年4月以降の対前年同月比については、産業分類改定による影響がある

4 正社員の有効求人倍率



(注) 正社員の有効求人倍率は正社員の月間有効求人数をパートタイムを除く常用の月間有効求職者数で除して算出しているが、パートタイムを除く常用の月間有効求職者数には派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

〔参考1〕

全国・長崎県・安定所別有効求人倍率

(学卒を除きパートを含む)

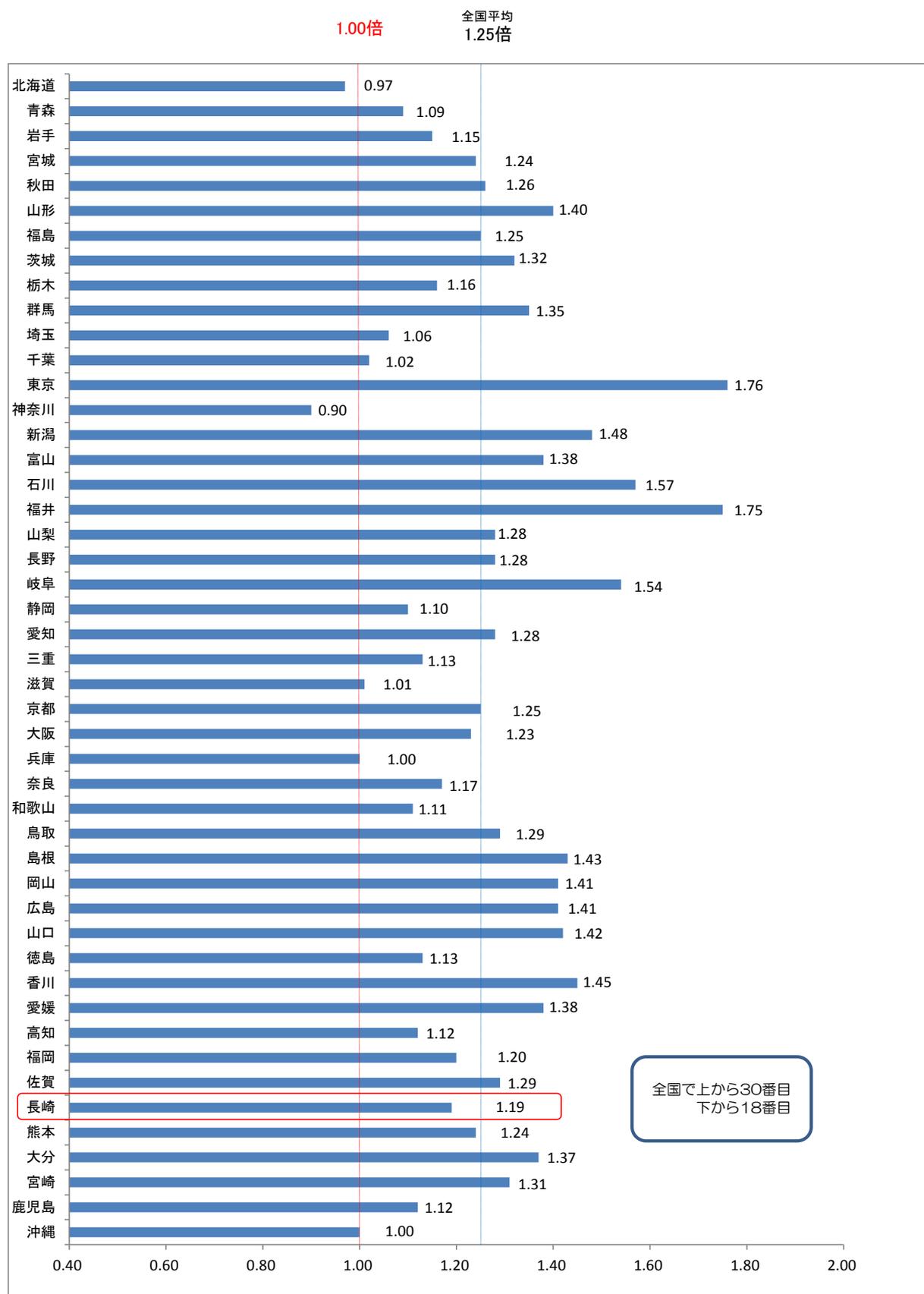
年度等	季節調整値		原 数 値												
	全国	長崎県	全国	長崎県	長 崎	西 海	佐世保	諫 早	大 村	島 原	江 迎	五 島	対 馬	壱 岐	
20 年度			0.77	0.53	0.66	0.34	0.54	0.51	0.41	0.44	0.32	0.35	0.23	0.37	
21 年度			0.45	0.41	0.45	0.27	0.38	0.45	0.34	0.44	0.26	0.40	0.27	0.39	
22 年度			0.56	0.49	0.53	0.33	0.47	0.58	0.42	0.50	0.31	0.42	0.35	0.48	
23 年度			0.68	0.60	0.61	0.44	0.62	0.75	0.53	0.61	0.43	0.47	0.40	0.51	
24 年度			0.82	0.65	0.66	0.54	0.70	0.77	0.58	0.73	0.40	0.56	0.38	0.49	
25 年度			0.97	0.75	0.74	0.62	0.86	0.83	0.59	0.78	0.58	0.66	0.66	0.60	
26 年度			1.11	0.87	0.87	0.85	0.94	0.92	0.75	0.86	0.70	0.83	0.83	0.64	
27 年度			1.23	1.01	0.97	1.01	1.17	1.16	0.88	0.93	0.79	0.83	0.94	0.79	
28 年度			1.39	1.14	1.02	1.24	1.49	1.36	0.95	1.01	0.99	0.97	0.99	0.97	
29 年度			1.54	1.20	1.03	1.17	1.48	1.54	1.05	1.11	1.13	1.06	1.27	1.14	
30 年度			1.62	1.25	1.06	1.33	1.53	1.52	1.15	1.30	1.04	1.41	1.14	1.23	
元 年度			1.55	1.18	0.98	1.30	1.54	1.35	1.15	1.20	0.94	1.43	1.09	0.98	
2 年度			1.10	0.95	0.81	0.95	1.25	1.02	1.02	0.93	0.82	0.93	0.85	0.82	
3 年度			1.16	1.10	0.94	1.14	1.31	1.29	1.13	1.21	0.97	1.22	1.01	1.07	
4 年度			1.31	1.20	1.04	1.39	1.37	1.39	1.14	1.29	1.21	1.31	1.28	1.06	
5 年度			1.29	1.21	1.12	1.39	1.46	1.27	1.08	1.21	1.11	1.21	1.33	1.13	
4年 11月	1.35	r 1.22	1.39	1.26	1.14	1.53	1.36	1.47	1.17	1.30	1.19	1.33	1.38	1.16	
12月	r 1.35	r 1.23	1.45	1.33	1.19	1.75	1.49	1.56	1.24	1.33	1.39	1.31	1.27	1.08	
5年 1月	1.35	1.25	1.44	1.34	1.16	1.81	1.53	1.54	1.26	1.52	1.52	1.34	1.60	0.99	
2月	1.34	1.23	1.41	1.32	1.14	1.66	1.51	1.51	1.22	1.42	1.61	1.38	1.48	0.92	
3月	1.32	1.23	1.36	1.26	1.10	1.63	1.50	1.41	1.13	1.33	1.50	1.35	1.21	1.01	
4月	1.32	1.23	1.24	1.17	1.02	1.43	1.45	1.29	1.01	1.17	1.22	1.20	1.14	0.98	
5月	r 1.32	1.24	1.21	1.14	0.99	1.29	1.41	1.25	1.02	1.21	1.09	1.17	1.28	1.03	
6月	r 1.31	1.22	1.23	1.14	1.00	1.25	1.43	1.24	1.06	1.12	1.07	1.16	1.35	1.13	
7月	r 1.30	1.19	1.26	1.15	1.04	1.34	1.41	1.18	1.09	1.08	1.08	1.22	1.33	1.14	
8月	r 1.30	r 1.23	1.28	1.20	1.13	1.35	1.42	1.24	1.10	1.10	1.05	1.10	1.42	1.24	
9月	1.29	r 1.23	1.29	1.21	1.15	1.30	1.43	1.28	1.05	1.14	0.97	1.26	1.40	1.21	
10月	r 1.29	1.23	1.31	1.23	1.15	1.39	1.39	1.32	1.12	1.20	1.09	1.21	1.41	1.07	
11月	r 1.27	r 1.21	1.32	1.25	1.18	1.44	1.44	1.28	1.10	1.28	1.12	1.31	1.48	1.04	
12月	1.27	r 1.21	1.37	1.31	1.25	1.53	1.53	1.31	1.13	1.36	1.20	1.28	1.43	1.20	
6年 1月	1.27	1.19	1.35	1.28	1.20	1.46	1.55	1.30	1.12	1.30	1.14	1.25	1.34	1.19	
2月	1.26	1.20	1.34	1.28	1.19	1.52	1.58	1.30	1.08	1.36	1.19	1.24	1.25	1.25	
3月	1.28	1.19	1.30	1.23	1.13	1.49	1.54	1.22	1.07	1.27	1.14	1.15	1.24	1.12	
4月	1.26	1.19	1.18	1.12	1.03	1.15	1.38	1.14	0.98	1.17	1.04	1.07	1.24	1.01	
5月	1.24	1.20	1.14	1.12	1.03	1.22	1.38	1.14	0.98	1.11	1.01	1.02	1.28	0.95	
6月	1.23	1.19	1.16	1.11	1.01	1.15	1.41	1.12	0.98	1.17	1.01	1.02	1.33	0.93	
7月	1.24	1.19	1.20	1.14	1.06	1.25	1.36	1.18	1.05	1.12	1.02	1.06	1.28	1.00	
8月	1.23	1.19	1.23	1.17	1.07	1.26	1.44	1.20	1.05	1.19	1.09	1.07	1.29	0.97	
9月	1.24	1.18	1.24	1.17	1.07	1.38	1.43	1.22	0.98	1.19	1.08	1.12	1.39	0.87	
10月	1.25	1.20	1.27	1.21	1.13	1.51	1.44	1.26	1.08	1.22	1.01	1.10	1.36	0.79	
6年 11月	1.25	1.19	1.30	1.22	1.16	1.51	1.41	1.29	1.07	1.23	0.94	1.13	1.63	1.11	
対前年同月差 * 対前月差	* 0.00	* ▲ 0.01	▲ 0.02	▲ 0.03	▲ 0.02	0.07	▲ 0.03	0.01	▲ 0.03	▲ 0.05	▲ 0.18	▲ 0.18	0.15	0.07	

(注) 季節調整値・・1年を周期として繰り返される季節的要因による変動の影響を取り除いた数値をいう。6年1月改定。rは改定値

(注) 令和3年9月以降の本資料の数値には、ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数等が含まれている。

[参考2]

都道府県別有効求人倍率：季節調整値 (新規学卒者を除きパートタイムを含む) 令和6年11月 全国平均1.25倍 [原数値1.30倍]



(資料出所)厚生労働省「職業安定業務統計」

〔参考3〕

一般求職者(原数値)の内訳

		6年11月	6年10月	5年11月	対前年同月 増減率 (%、ポイント)
新規求職者 ※	計	4,180	5,029	4,281	-2.4
	男	1,761	2,039	1,774	-0.7
	女	2,415	2,985	2,502	-3.5
有効求職者 ※	計	21,624	22,200	21,603	0.1
	男	9,219	9,386	9,293	-0.8
	女	12,385	12,796	12,290	0.8

年齢別常用求人・求職(原数値)の状況

			6年11月	6年10月	5年11月	対前年同月 増減率 (%、ポイント)
新規求人			8,245	9,412	8,790	-6.2
新規求職 ※	年齢計	計	4,160	5,003	4,261	-2.4
		男	1,755	2,032	1,766	-0.6
		女	2,401	2,966	2,490	-3.6
	24歳以下	計	330	410	352	-6.3
		男	133	180	153	-13.1
		女	196	230	199	-1.5
	25～34歳	計	740	855	811	-8.8
		男	250	303	274	-8.8
		女	488	551	535	-8.8
	35～44歳	計	739	865	784	-5.7
		男	258	303	282	-8.5
		女	481	561	501	-4.0
	45～54歳	計	782	957	801	-2.4
		男	300	324	280	7.1
		女	481	632	519	-7.3
	55～64歳	計	832	1,066	842	-1.2
		男	390	465	407	-4.2
		女	442	601	435	1.6
	65歳以上	計	737	850	671	9.8
		男	424	457	370	14.6
女		313	391	301	4.0	
新規求人倍率(受理地別)			1.98	1.88	2.06	-0.08
有効求人			24,772	25,031	25,318	-2.2
有効求職 ※	年齢計	計	21,528	22,101	21,498	0.1
		男	9,187	9,352	9,253	-0.7
		女	12,321	12,732	12,225	0.8
	24歳以下	計	1,625	1,708	1,733	-6.2
		男	731	763	775	-5.7
		女	892	944	956	-6.7
	25～34歳	計	3,694	3,728	3,902	-5.3
		男	1,326	1,354	1,460	-9.2
		女	2,362	2,370	2,437	-3.1
	35～44歳	計	3,728	3,844	3,791	-1.7
		男	1,372	1,397	1,395	-1.6
		女	2,353	2,444	2,391	-1.6
	45～54歳	計	4,247	4,353	4,200	1.1
		男	1,624	1,624	1,591	2.1
		女	2,618	2,725	2,606	0.5
	55～64歳	計	5,070	5,311	4,954	2.3
		男	2,317	2,399	2,309	0.3
		女	2,751	2,909	2,644	4.0
	65歳以上	計	3,164	3,157	2,918	8.4
		男	1,817	1,815	1,723	5.5
女		1,345	1,340	1,191	12.9	
有効求人倍率(受理地別)			1.15	1.13	1.18	-0.03

(注) 新規学卒を除きパートタイムを含む

※ 求職申込時に性別登録がなかった者を含むため、男女計と一致しない

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度	
支援対象者	(1) 不安定な就労状態にある方	
目標	第一ステージの状況を踏まえ、正規雇用を希望しながら不安定な就労状態にある方について、引き続き正規雇用者数を目標とする。	
	KPI項目	目標値
第二ステージ	ハローワーク紹介による正社員就職件数	2,000件
	キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	160人

【令和6年度取組状況等】

1 専門窓口を中心とした支援の取組

ハローワーク長崎に設置している就職氷河期世代支援専門窓口を中心に、県内の各ハローワークで一人ひとりの課題に応じて、正社員化の実現に向けたきめ細かい就職支援を実施した。
また、就職した日から6か月後までの職場定着支援にも取り組んだ。

【参考】

就職氷河期世代専門窓口（ハローワーク長崎「就職氷河期世代支援コーナー」）における支援状況

* 『就活カフェ』実施状況（R6.11月末現在）

- ・就職支援セミナー開催回数39回、参加者数444人
- ・事業所面接会開催回数21回、参加者数403人、事業所数94社

* 就職支援実施状況

- ・令和6年4月～11月までの就職件数333件
- ・就職支援の具体的事例 [別添1]

* 職場定着支援実施状況

- ・令和5年10月～令和6年3月までの就職者47人→6か月後の在職者33人（定着率70.2%）※全国69.3%
- ・定着支援の具体的事例 [別添2]

2 「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援」の取組

(1) 就職氷河期世代への雇用支援のための企業説明会の実施 [別添3]

『新たな一歩！企業説明会&スキルアップ体験会』と称したイベントを3会場で開催した。

* 県北会場（R6.10.25金：アルカスSASEBO）

- ・出展企業21社、出展職業訓練施設5施設、参加者数22人

* 県央会場（R6.11.21木：トランスコスモススタジアム長崎）

- ・出展企業10社、出展職業訓練施設6施設、参加者数36人

* 県南会場（R6.11.30土：出島メッセ長崎）

- ・出展企業28社、参加者数81人

※職業訓練体験は隣接会場のハロトレフェスにおいて実施 [別添4]

(2) 就職氷河期世代支援に係る各種事業の周知及び気運の醸成に係る広報の実施

* 上記イベントの周知・広報

- ・特設サイト開設、テレビCM、Web広告、ポスター・チラシ配布など [委託業者]
- ・FM長崎、かもめビジョン、ポスター・チラシ配布など [当局（ハロトレフェス含む）]

(3) 委託業者からの中間報告

* 参加者の満足度93.6%（「大変役に立った」「まあ役に立った」の合計数）

3 キャリアアップ助成金活用に係る周知の取組 [別添5]

・当局による経済団体等への周知及び各ハローワークによる管内事業所への周知に取り組んだ。

・長崎県が主催する「産業支援制度説明会」、年金事務所が主催する「算定基礎届説明会」及び商工会議所等が行う助成金セミナー等に当局及びハローワークの職員を派遣し、周知・説明に取り組んだ。

・上記2のイベント及び「NAGASAKIしごとみらい博2024」（R6.11.30出島メッセ長崎）に出展した企業に対し当局職員が周知・説明に取り組んだ。

KPI項目	実績累計	進捗率
ハローワーク紹介による正社員就職件数	2,240件	112.0%
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	176人	110.0%

※令和5年度分+令和6年11月末時点の実績

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	第一ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする。	
	K P I 項目	目標値
第二ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数	30件
	職場体験等の実施件数	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	各年度4回 (HW長崎・佐世保で各年度2回)

【令和6年度取組状況等】

1 地域若者サポートステーションとの意見交換等の取組

ハローワークと地域若者サポートステーションとの連携体制強化を目的とした意見交換会等を実施。

【実施状況】 (R6.11月末現在)

*ハローワーク長崎⇄長崎若者サポートステーション

- ・ 1回目：令和6年10月15日
- ・ 2回目：令和6年11月12日

*ハローワーク佐世保⇄佐世保若者サポートステーション

- ・ 1回目：令和6年7月9日
- ・ 2回目：令和6年11月19日

K P I 項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数	117件	390.0%
職場体験等の実施件数	100件	625.0%
サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	11回	137.5%

※令和5年度分+令和6年11月末時点の実績

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度
支援対象者	(4) 全支援対象者

【令和6年度取組状況等】

1 対象者への支援の取組

(1) 不安定な就労状態にある方、(2) 長期にわたり無業の状態にある方への取組に同じ。

2 情報発信の取組 [別添6]

当局ホームページの就職氷河期世代支援特設サイトにおいて、プラットフォームの各構成員が開催するイベント情報等を集約のうえ発信を行った。

3 職業訓練体験の取組 [別添4] (再掲)

令和6年11月30日(土)に『第2弾!!ハロートレーニングフェス2024～急がば学べ!職業訓練のすすめ!～』を開催し、公的職業訓練等の認知度向上等に取り組んだが、就職氷河期世代にも積極的に周知のうえ参加勧奨に取り組んだ。

企業説明会 & スキルアップ体験会

新たな一歩!

長崎労働局では、ミドル世代(35~56歳)のための合同企業説明会を開催いたします。

各会場のイベントでは企業との面談に加えて、

職業訓練体験コーナー、就労支援コーナーもあるので自分に合った仕事探しのヒントが得られます。

ご自身の希望のキャリアに向けてぜひご参加ください!

対象

概ね35~56歳の方・UIターンを希望する方・転職をお考えの方など、
長崎県内企業への就職を希望している方

✓ 参加費無料

✓ 履歴書不要

✓ 服装自由

✓ 経験不問

※職業訓練体験コーナーの詳細については裏面をご覧ください。

合同企業説明会について

✓ 県北会場

10/25 (金)

13:00-16:00

[会場] アルカスSASEBO

[出展数] 20社

✓ 県中央会場

11/21 (木)

13:00-16:00

[会場] トランスコスモス

スタジアム長崎

[出展数] 10社

✓ 県南会場

11/30 (土)

13:00-16:00

[会場] 出島メッセ長崎

[出展数] 30社

会場に
職業訓練体験
コーナー
就職支援コーナー
を設置!

申込方法

■ 申込フォームからお申込みください



<https://x.gd/QbHSK>

※申込後に申込受付完了メールが届くので必ずチェックしてください。

特設サイト

■ 詳しくは特設サイトをご確認ください



<https://nagasaki-middle.mhlw.go.jp>

県南会場限定 同日開催!!

✓ 「第2弾!!ハートトレーニングフェス2024」

✓ 「NAGASAKIしごとみらい博2024」

主催

厚生労働省 長崎労働局

問い合わせ先

(長崎労働局就職氷河期世代活躍支援事業事務局)

0120-946-059 (受付時間/10:00~18:00 ※土日祝除く)

受託事業者/リクルーティング・パートナーズ株式会社

E-Mail: nagasaki_hyougaki_shien@3140pa.com

職業訓練体験コーナーとは

※前回のイベントの様子は長崎労働局ホームページからご覧いただけます。

体験

職業訓練でどういふことを学ぶのか
実際に触れて体験できます!!

AR溶接／プログラミング・デザイン／介護体験／パソコン操作／フラワーアレンジメント
医療事務体験／マイ著作り／缶バッヂ作り…等

できる

✓ 実際の訓練を **体験** してみよう!!

相談

職業相談、求人相談
適職診断も受けられる!!

訓練を受講したい、訓練生を採用したい、
自分がどんな職業に向いているのか…

できる

✓ この機会に **相談** してみよう!!

交流

訓練体験やブース訪問を通して
訓練施設の方と **交流** できます!!

実際に訓練を実施している訓練施設の方も参加します!!
興味のあるブースで自由に説明を聞いたり、
体験することで理解が深まります!!

できる

詳細は、
表面の二次元バーコードの
特設ホームページや、
その他SNS等をご覧ください!!



長崎労働局LINE



長崎労働局職業安定部
Instagram



参加訓練実施施設一覧

県北・県央会場は本イベントにおいて、県南会場は同日開催のハロトレフェスにおいて、
ハロートレーニングの体験・相談・交流ができます!!

[参加会場]

[参加訓練実施施設]

県南

&AfterSchool

県南

県央

いさはやコンピュータ・カレッジ

県南

公益財団法人介護労働安定センター長崎支部

県南

株式会社建築資料研究社日建学院 長崎校

県南

こころ医療福祉専門学校

県北

こころ医療福祉専門学校 佐世保校

県北

有限会社佐世保情報アカデミー

県南

shapes school

県南

寿光会 介護研修センター

県北

青雲塾情報ビジネス学院

[参加会場]

[参加訓練実施施設]

県南

県央

長崎県立長崎高等技術専門学校

県南

県北

長崎県立佐世保高等技術専門学校

県南

長崎県職業能力開発協会

県南

県央

長崎医療こども専門学校

県南

県央

株式会社ニチイ学館

県央

PC パソコン教室

県南

株式会社ふれんど

県南

県央

ポリテクセンター長崎

県南

県北

ポリテクセンター佐世保

県南

メトロITビジネスカレッジ

11/30

(土)

県南

出島メッセ長崎には

FM長崎 **Sunrise Station** のパーソナリティ **甲斐田**さんと**芳野**さんが参加!!

その様子は、番組内の「work×work! ハローワーク(※毎週金曜日 8:50~)」のコーナーで放送予定!!

雇用保険受給中の方は、求職活動実績になります!!

[別添4]

参加
無料

ちよつと、

体験してみない？

申込
不要

参加訓練校
16校!!

PC、IT、ものづくり、介護など
職業訓練が体験できる!!

11/30
Sat.
11:00→15:30

第2弾!!

ハートトレーニングフェス2024
～急がば学べ！職業訓練のすすめ！～

同日開催

新たな一歩！
企業説明会&
スキルアップ体験会



同日開催

NAGASAKI
しごとみらい博2024



●開催場所：出島メッセ長崎 コンベンションホール

主催 厚生労働省 長崎労働局
共催 長崎県、長崎高等技術専門学校、佐世保高等技術専門学校、J E E D長崎支部、ポリテクセンター長崎、ポリテクセンター佐世保、
長崎県職業能力開発協会、ハローワーク
後援 長崎市、佐世保市、島原市、大村市、対馬市、長崎県社会福祉協議会



有限会社 佐世保情報アカデミー Webクリエイター科1

イベント内容

※前回のイベントの様子は長崎労働局ホームページからご覧いただけます。

体験できる

職業訓練でどういことを学ぶのか
実際に触れて体験できます!!

AR溶接/プログラミング・デザイン/介護体験
/パソコン操作/フラワーアレンジメント
/医療事務体験/マイ箸作り/缶バッジ作り…等

実際の訓練を**体験**してみよう!!

相談できる

職業相談、求人相談
適職診断も受けられる!!

訓練を受講したい、訓練生を採用したい、
自分がどんな職業に向いているのか…

この機会に**相談**してみよう!!

相談所

交流できる

訓練体験やブース訪問を通して
訓練施設の方と**交流**できます!!

実際に訓練を実施している訓練施設の方
も参加します!!
興味のあるブースで自由に説明を聞いたり
体験することで理解が深まります!!

詳細は、表の二次元バーコードの特設ホームページ・その他SNS等をご覧ください!!



長崎労働局LINE



長崎労働局職業安定部
Instagram



11/30(土)の県南会場 出島メッセ長崎には

FM長崎 **Sunrise Station** のパーソナリティ甲斐田さんと芳野さんが参加!!

その様子は番組内の「workxwork! ハローワーク」のコーナーで放送予定!!
毎週金曜日8:50~

佐世保・諫早でも
訓練体験会を開催します!!

「新たな一歩! 企業説明会&スキルアップ体験会」
において
ハロートレーニングの体験・相談・交流ができます!!

県北会場 10/25(金) アルカスSASEBO 13:00~16:00
県東会場 11/21(木) トランスコスモスタジアム長崎 13:00~16:00

参加会場	参加訓練実施施設	参加会場	参加訓練実施施設
県南	&AfterSchool	県南 県央	長崎県立長崎高等技術専門学校
県南 県央	いさはやコンピュータ・カレッジ	県南 県北	長崎県立佐世保高等技術専門学校
県南	公益財団法人介護労働安定センター長崎支部	県南	長崎県職業能力開発協会
県南	株式会社建築資料研究社 日建学院 長崎校	県南 県央	長崎医療こども専門学校
県南	こころ医療福祉専門学校	県南 県央	株式会社ニチイ学館
県北	こころ医療福祉専門学校佐世保校	県央	PCパソコン教室
県北	有限会社佐世保情報アカデミー	県南	株式会社ふれんど
県南	shapes school	県南 県央	ポリテクセンター長崎
県南	寿光会介護研修センター	県南 県北	ポリテクセンター佐世保
県北	青雲塾情報ビジネス学院	県南	メトITビジネスカレッジ

※参加施設・実施内容は会場により異なります。

県南会場



雇用保険受給中の方は、求職活動実績になります!!

問合せ：長崎労働局 訓練課 TEL⇒095-801-0044
mail⇒naga-kunren@mhlw.go.jp

キャリアアップ助成金のご案内 (令和6年度版)

「キャリアアップ助成金」は、有期雇用労働者、短時間労働者、派遣労働者（以下「有期雇用労働者等」といいます。）といった、**非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップを促進するため、正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対して助成する制度**です。

	助成内容	助成額			
			中小企業の場合	大企業の場合	
正社員化支援	正社員化コース 有期雇用労働者等を 正社員化(※) した場合（1人当たり） ※ 正規雇用労働者等へ転換または派遣労働者を正規雇用労働者等として直接雇用すること。 正規雇用労働者には「多様な正社員（勤務地限定・職務限定・短時間正社員）」を含みます。	①有期 → 正規	80万円	60万円	
		②無期 → 正規	40万円	30万円	
		※ 派遣労働者を派遣先で正規雇用労働者で直接雇用する場合に加算 1人当たり28.5万円（大企業も同額） ※ 対象者が母子家庭の母等又は父子家庭の父の場合に加算 ①：1人当たり9.5万円 ②：4.75万円（大企業も同額） ※ 人材開発支援助成金の訓練修了後に正社員化した場合に加算（自発的職業能力開発訓練または定額制訓練 以外 の訓練修了後） ①：1人当たり9.5万円 ②：4.75万円（大企業も同額） （自発的職業能力開発訓練または定額制訓練修了後） ①：1人当たり11万円 ②：5.5万円（大企業も同額） ※ 正社員転換等制度を新たに規定し、当該区分に転換等した場合に加算 1事業所当たり20万円（大企業の場合、15万円） ※ 多様な正社員制度(注)を新たに規定し、当該区分に転換等した場合に加算（注：勤務地限定・職務限定・短時間正社員いずれか1つ以上） 1事業所当たり40万円（大企業の場合、30万円）			
	障害者正社員化コース 障害のある有期雇用労働者等を 正規雇用労働者等に転換 した場合（1人当たり） ※ 正規雇用労働者には「多様な正社員（勤務地限定・職務限定・短時間正社員）」を含みます。	① 重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者の場合			
		有期 → 正規	120万円	90万円	
		有期 → 無期	60万円	45万円	
		無期 → 正規	60万円	45万円	
		② 重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者 以外 の場合			
		有期 → 正規	90万円	67.5万円	
	有期 → 無期	45万円	33万円		
無期 → 正規	45万円	33万円			
※ 助成額が支給対象期間における対象労働者に対する賃金の額を超える場合には、当該賃金の総額を上限額として支給します。					
処遇改善支援	賃金規定等改定コース 有期雇用労働者等の基本給の賃金規定等を 3%以上増額改定 し、その規定を適用させた場合（1人当たり）	3%以上5%未満	5万円	3.3万円	
		5%以上	6.5万円	4.3万円	
	※ 「職務評価」の手法の活用により増額改定を実施した場合に加算 1事業所当たり20万円（大企業の場合、15万円）				
	賃金規定等共通化コース 有期雇用労働者等と 正規雇用労働者との共通の賃金規定等 を新たに規定・適用した場合	1事業所当たり	60万円	45万円	
	賞与・退職金制度導入コース 有期雇用労働者等を対象に 賞与・退職金制度を導入 し、支給または積立を実施した場合	1事業所当たり	40万円	30万円	
	※ 同時に導入した場合に加算 16.8万円（大企業の場合、12.6万円）				
	社会保険適用時処遇改善コース 短時間労働者に以下のいずれかの取組を行った場合（1人当たり） ①新たに社会保険の被保険者となった際に、 手当支給・賃上げ・労働時間延長 を行った場合 ② 労働時間を延長して新たに社会保険の被保険者 とした場合	手当等支給メニュー	50万円	37.5万円	
併用メニュー		50万円	37.5万円		
労働時間延長メニュー		30万円	22.5万円		

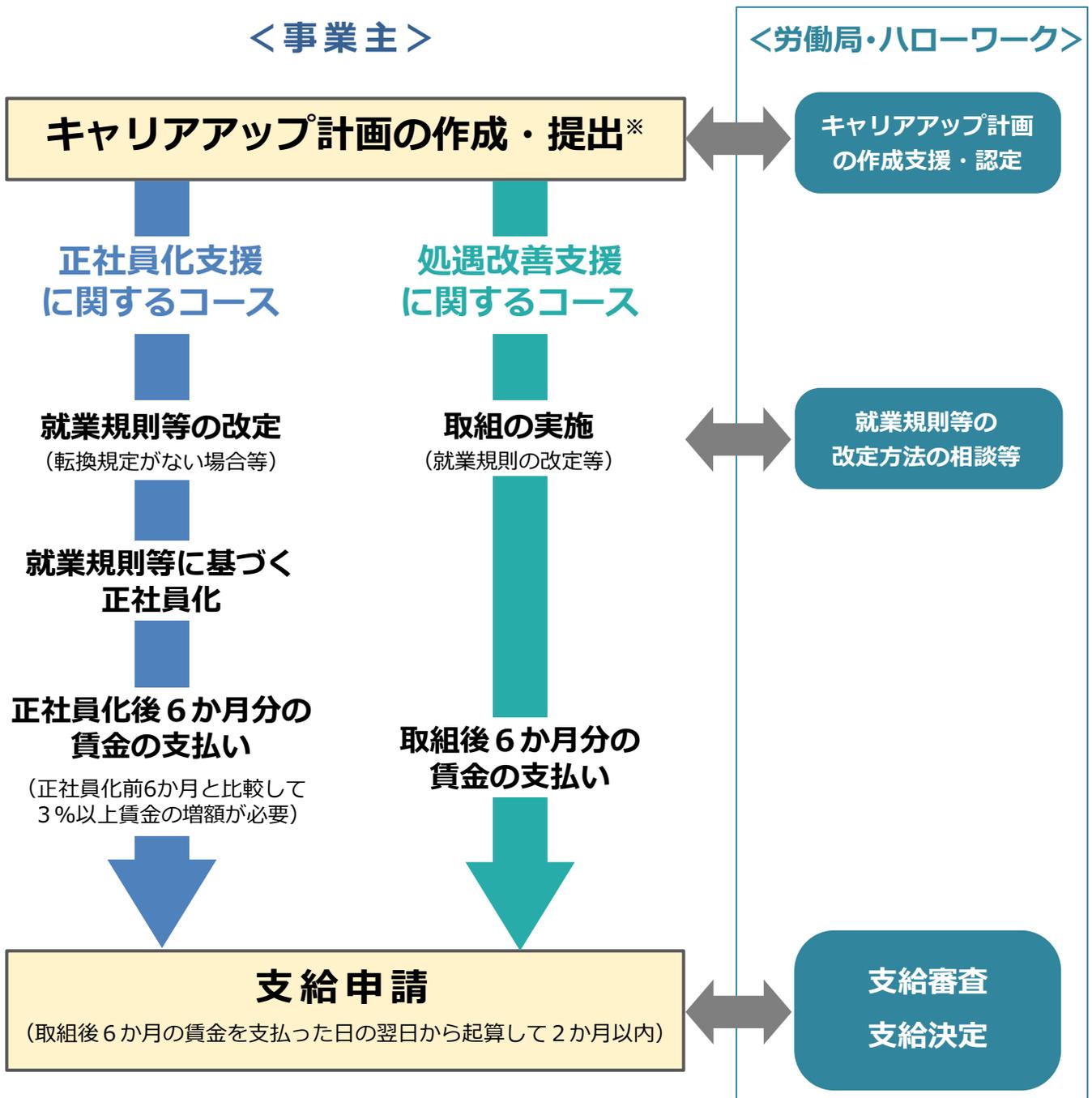
※ 短時間労働者労働時間延長コースは令和6年3月31日を以て廃止し、当該日に行った取組まで助成を受けられます。

◆ 支給要件の詳細や助成上限（人数・回数等）については、裏面ご案内のホームページよりご確認ください。

◆ 正社員化コース、障害者正社員化コース、社会保険適用時処遇改善コースは、各支給対象期の取組を講じた場合の合計額です。

キャリアアップ助成金の申請までの流れ

「キャリアアップ助成金」の活用にあたっては、
各コースの実施日の**前日までに「キャリアアップ計画」の提出が必要**です。



※ 計画の提出（支給申請）は、窓口への持参、郵送、電子申請によって行うことができます。

- ◆ 詳しくは、最寄りの都道府県労働局またはハローワークにお問い合わせください。
- ◆ パンフレット、申請様式、Q&Aは厚生労働省ホームページに掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/part_haken/jigyounushi/career.html

キャリアアップ助成金

検索



参加無料

正社員雇用

就職氷河期世代人材向けジョブマッチング

九州で就職・転職を考えている就職氷河期世代いわゆるミドル層の方に向けた就職イベントです。九州の企業との出会いの場としてぜひご活用ください。

対象 主に長崎、熊本、鹿児島で求職中の就職氷河期世代
いわゆるミドル層で、正社員での就職・転職を目指している方

※就職氷河期世代とは「昭和43年4月2日から昭和63年4月1日までの間に生まれた方」を指します。

8/31

土 12:00-15:00

12:00～13:00 **キャリアデザイン講座**

13:00～15:00 **企業説明会**

配信 **オンライン形式 (Microsoft Teams)**

※オンライン形式 (Microsoft Teams) では、入室時に設定した登録名が画面に表示されます。個人情報保護の観点から、本事業にかかるセミナー、ワークショップ及びジョブマッチング当日は、公表可能な名称を設定してください(ご参加いただくための入室用URLをお知らせする際にも、改めてご案内いたします)。

キャリアデザイン講座とは

▶ **これからのキャリアを考えるきっかけとなる、キャリアデザイン講座も同日開催します!**

これまでの経験やご自身の価値観を振り返ることで職業やキャリアの方向性を明確にし、自己成長や職業的な目標を達成するために必要なスキルや、人生100年時代のキャリアデザインの戦略を学ぶための講座です。また、直後に開催するジョブマッチングに備えて、企業へ自分の想いを伝える方法や、多くの企業の話聞く重要性についてもお伝えします。

▶ **こんな方におすすめです。**

- ・ 新たに新しく仕事を探したい! と思いながらも、どう動いたらいいかわからない方
- ・ 自分の強みや自分の適職を知りたい方
- ・ これからの自分のキャリアを考えていきたい方

特設サイト



本イベントの詳細については、特設サイトをご確認ください。

<https://diversity.kyushu.meti.go.jp/>

申込方法



※二次元バーコードを読み取り、専用フォームからお申込みください。入室用URLをお送りします。

申込締切 **当日までOK**

<https://6246bbd9.form.kintoneapp.com/public/kks-a-jobmatching>

※ご提供いただいた個人情報は、事務局(九州経済産業局、リクルーティング・パートナーズ株式会社及び株式会社みらいワークス(本事業に係る委託事業者))及び講師並びにコーディネーターが、本事業(令和6年度九州経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業)の運営においてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期するとともに、ご本人の同意なしに事務局及び講師以外の第三者に開示、提供することはありません。

問い合わせ先

リクルーティング・パートナーズ株式会社(委託先)

E-Mail kks@3140pa.com TEL 0120-946-059 (受付時間) 平日/10:00~18:00

■本事業は、令和6年度「九州経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業(人材戦略構築支援事業)」により実施します。



長崎若者サポートステーション



2024年
12月

グループワークカレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
2 14:00-15:30 Zoomで 交流会	3 13:30-15:00 農業 プログラム	4 PC自主学习	5 10:30-12:00 木を切る	6 10:30-12:00 運動 プログラム	7 15:00-17:00 人形劇
9 10:30-12:00 本とコーヒー	10 10:30-12:00 タイピング 練習	11 PC自主学习	12 PC自主学习	13 10:30-12:00 運動 プログラム	14 15:00-17:00 人形劇
16 13:00-15:00 卓球大会	17 13:30-15:00 農業 プログラム	18 10:30-12:00 軽作業体験 14:00-15:30 コミュトレ	19 14:00-15:30 よい眠り のための ポイント	20 10:30-12:00 運動 プログラム	21 15:00-17:00 人形劇
23 14:00-15:30 Canvaで チラシ作り	24 PC自主学习	25 PC自主学习	26 13:30-15:00 月いち ミーティング	27 PC自主学习	28 15:00-17:00 人形劇

長崎若者サポートステーションでは「働きたい」あなたの気持ちをサポートしています。
仕事に就いていない15歳～49歳を対象に、無料で就労支援の面談やグループワークを行っています。

グループワークは原則予約制です。
はじめての参加の場合は
その前に登録が必要になりますので
一度面談にお越しください。
電話にて面談のご予約を承ります。

内容によって人数上限が違う場合があります。
内容が途中で変更になったり中止になる場合もあります。

☆初回面談のご相談・お問い合わせ先

長崎若者サポートステーション

〒850-0022 長崎市馬町48-1
長崎県市町村会館馬町別館2階
TEL 095-823-8248
E-mail info@nagasaki-saposute.com
WEB http://nagasaki-saposute.com/



・LINE (情報発信専用)
・Instagram
saposute.nagasaki



グループワークの詳細



2(月) 14:00-15:30 Zoomで交流会 Zoomを使って交流しよう！初利用の方も歓迎！自宅からでも参加OK！ L 野口	5(木) 10:30-12:00 木を切りたい人大集合！ のこぎりを用いて木を切りま す。体験したい人、ストレス発 散したい人、何でもござれ！ E 野口	9(月) 10:30-12:00 本とコーヒー 集中して読書、感想をシェア。 言葉を磨き、周りの世界を知 る機会に。サポステで実施。 L 森内		
10(火) 10:30-12:00 タイピングの練習をしよう 正確でスピーディなタイピングが できると仕事の効率UP！転職 活動にも役立ちます♪ J 野口	16(月) 13:00-15:00 みんなで卓球をしよう！ 12:30集合！恒例のス ポーツGW！楽しく体を動 かしましょう！ L 田中	18(水) 10:30-12:00 軽作業体験 チラシ発送準備等、サポス テの事務を体験！事務職 に興味のある方ぜひ。 J 森内・村田	18(水) 14:00-15:30 コミュトレ 簡単なゲームをして、コミュ ニケーションスキルの取得 に取り組もう！ E 草野	19(木) 14:00-15:30 よい眠りのためのポイント 内容の詳細についてはロ ビーに掲示するチラシでご 確認ください。 L 野口
複数回開催				
23(月) 14:00-15:30 Canvaでチラシ作り パソコン初心者も参加OK わかりやすいチラシを作っ てみましょう(限定4名) J 野口	26(木) 13:30-15:00 月いちミーティング 楽しく雑談をしながら近況 報告と、来月の目標をたて ましょう！ L 田中	第1・3火13:30-15:00 農業プロジェクト 簡単・べんりそしてワクワ ク！緑のチカラで心も体も 元気になりましょう♪ E 大和田・田中	第123金 10:30-12:00 運動プログラム 生活リズムや体力づくりの ため、サポステで体を動か しましょう！ L 田中・野口	毎週土15:00-17:00 人形劇 年数回の講演に向けて、作 画、裁縫、小物づくりなどを 毎週行っています。 E 儀間

長崎サポステのつかいかた

【個別面談】まずは面談でいまの状況や就活に関する悩みを聞かせてください。それぞれにあわせた支援プランを一緒に考えていきます。

面談



【職場体験】

いきなり仕事をはじめるのは不安...そんな方のために職場体験も用意しております。詳しくはスタッフへおたずねください。



職場体験

【グループワーク】

サポステのグループワークは、内容ごとに、就活をメインとした**仕事(Job)**、季節イベントなどのさまざまな経験を通して人間力をつける**経験(Experience)**、心身の健康促進と生活習慣の向上を目指す**生活(Life)**、季節にあわせた課外活動等の**スペシャル(Special)**の4種に分かれています。面談時に担当スタッフと相談してぜひご参加ください。

ジェルズ!

J

仕事(Job)

面接練習や応募書類の書き方、求人検索等、就職活動に必要なアレコレをわかりやすく学び、実践するワークを行っています。

L

生活(Life)

スポーツなど心身の健康促進と、お金の管理や手帳の使い方などの生活習慣の向上の一助になるような、様々なワークを実施します。

E

経験(Experience)

さまざまな経験を積むことは、自身の視野を広げてくれるはず。サポステでは、経験の幅を広げるワークを用意しております。

S

スペシャル(Special)

上記以外に、季節にあわせた課外活動なども用意しております。

サポステ通信



佐世保若者サポートステーション（サポステ）は、**無料**で就職支援を行っています。

仕事に就いていない**15歳から49歳**までの方で、大学・高校等を中途退学される・された方、未就職で卒業された方、仕事を辞め仕事を探している方など、ぜひサポステをご利用ください。

☆今月のスケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
2 PC自習 求人検索	3 PC自習 求人検索	4 PC自習 求人検索	5 身体を使ったコミュトレ (13:30~15:00)	6 心理カウンセリング (9:30~11:30)	7 適職診断 (13:30~15:30)
9 手先を使ったコミュトレ (13:30~15:30)	10 PC自習 求人検索	11 休館日 (研修の為)	12 ウォーキング&ボランティア (13:30~15:00)	13 心理カウンセリング (9:30~11:30) 身体を使ったコミュトレ &ミーティング (13:30~15:30)	14 休館日
16 求人検索をしよう (13:30~15:30)	17 カレンダーを作ろう (13:30~15:30)	18 PC自習 求人検索	19 身体を使ったコミュトレ (13:30~15:30)	20 心理カウンセリング (9:30~11:30) 1 DAYセミナー (3時間) (13:30~16:30)	21 PC自習 求人検索
23 ミュージックトーク (13:30~15:00)	24 PC自習 求人検索	25 PC自習 求人検索	26 花壇里親ボランティア &大掃除 (13:30~15:30)	27 心理カウンセリング (9:30~11:30)	28 休館日
30 休館日	31 休館日	1 	2	3	4

サポステの休館日は、第2・第4土曜日、日・祝日です。

PC自習・求人検索は随時ご利用可能です！（予約優先とさせていただきます）

☆出張相談会・巡回相談会の日程

時間11:00~16:00(ハローワーク佐世保のみ13:00~16:00)			
ハローワーク佐世保	12月19日(木)	ハローワーク長崎西海出張所	12月 2日(月)
波佐見町役場	12月13日(金)	ハローワーク長崎西海出張所	12月16日(月)
川棚町役場	12月20日(金)	離島巡回相談会	
ハローワーク江迎	12月 4日(水)	壱岐 勝本地区公民館	12月 6日(金)
平戸文化センター	12月12日(木)		ハローワーク壱岐
松浦市保健センター	12月26日(木)	対馬 豊玉町社会福祉協議会	12月10日(火)
生戸町中央公民館	12月27日(金)		ハローワーク対馬

※日程が変更になる場合もありますので、出張・巡回相談会についてはお電話にてお問い合わせください。

☆お問い合わせ先

佐世保若者サポートステーション	
〒857-0872 佐世保市上京町5-7 2階	
TEL 0956-25-3490 FAX 0956-25-3491	
e-mail	info@saposute-sasebo.com
web	https://saposute-sasebo.com
開所時間	10:00~17:00 (第2・第4土曜日、日・祝休み)
壱岐駐在スタッフ 070-4791-6146	
対馬駐在スタッフ 080-6776-6797	

配信LINE

公式HP

WhatsApp連絡先



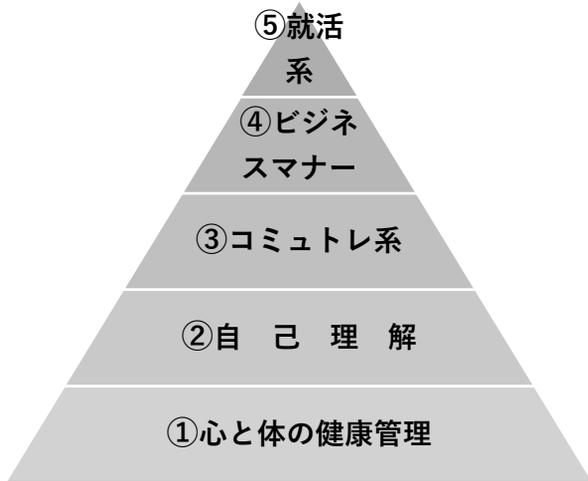
～サポステLINE発信中～サポステ情報を発信しています！

皆様のご登録をお待ちしております。

☆☆ 12月予定のグループワークのご案内 ☆☆

ご利用は**予約優先**です。お問い合わせやご相談は随時受け付けております。開所日には、個別の就職支援（面接練習、応募書類チェックなど）も行っています。お気軽にご相談ください。

就活準備ピラミッド①～⑤



① 身体を使ったコミュトレ

12月5日（木）13:30~15:00



ヨガ教室です。心と体を整えリフレッシュしましょう。動きやすい服装でご参加ください。

【13時サポステ集合】 【定員6名】

⑤② 適職診断

12月7日（土）13:30~15:30

自分の適性を知り、仕事探しの参考にしましょう。

【サポステに13:20までにご来所ください】

【定員6名】

③ 手先を使ったコミュトレ

12月9日（月）13:30~15:30

もうすぐクリスマス。みんなで楽しくクリスマスオーナメントを作ります。自作のオーナメントを飾ってアットホームなクリスマスを演出しましょう。

①③ ウォーキング&ボランティア

12月12日（木）13:30~15:00

今回は、鯨瀬ターミナルの展望台までゴミ拾いをしながら歩きます。地域貢献をしながら体力をつけましょう。

①③ 身体を使ったコミュトレ & ミーティング

12月13日（金）13:30~15:30

今年最後の皆さんで決めていただいたグループワーク、**ドッジボール大会**です。身体を動かして楽しんで後、今年を振り返って一年を締めくくりましょう。

⑤② 求人検索をしよう

12月16日（月）13:30~15:30

求人検索のやり方を学び、自分に合った仕事の見つけ方を学びましょう。

⑤② カレンダーを作ろう

12月17日（火）13:30~15:30

来年のカレンダーを作ります。好きな写真や絵を取り込んで、自分だけのオリジナルカレンダーを作しましょう。

【定員5名】

①③ 身体を使ったコミュトレ

12月19日（木）13:30~15:30

毎月好評の**バドミントン**です。身体を動かしてリフレッシュしながら楽しくコミュトレしましょう。

【サポステ出発は13:10】

④③ 1 DAYセミナー

12月20日（金）13:30~16:30(3時間)

自分の就活の課題と解決策を把握し、面接の練習をしましょう。

ミュージックトーク

12月23日（月）13:30~15:00

自分のお気に入りの音楽について紹介し合ったり、語り合うことを通してコミュニケーショントレーニングを楽しみましょう。

③① 花壇里親ボランティア&大掃除

12月26日（木）13:30~15:30

花壇の掃除や草取りをして、花でいっぱいの街づくりを目指します。最後に、皆さんでサポステを大掃除して新年を迎えましょう。

♡心理カウンセリング♡ 12月の予定（要予約）

6日(金) 13日(金) 20日(金) 27日(金)

時間(1) 9:30 (2) 10:30

ペーパーレス化にご協力をお願いします!

サポステ通信のメール送付を行っています。希望される方は佐世保サポステのメール (info@saposute-sasebo.com) の件名に「サポステ通信返信用」と「ご氏名」をご記入の上、ご送信をお願いします。



【長崎県(雇用労働政策課)】

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度	
支援対象者	(1) 不安定な就労状態にある方	
目標	第一ステージの状況を踏まえ、正規雇用を希望しながら不安定な就労状態にある方について、引き続き正規雇用者数を目標とする。	
	KPI項目	目標値
第二ステージ	ハローワーク紹介による正社員就職件数	2,000件
	キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	160人

【令和6年度取組状況等】

<令和6年度取組状況>

○長崎県人材活躍支援センターにおける求人企業と求職者のマッチング支援

① 採用力向上支援員による企業への採用支援

採用力向上支援員が企業訪問し、求人開拓や各種支援制度の紹介等により、氷河期世代の新規採用等を促進

令和6年度取組状況(11月末現在) 訪問社数：延928件(うちリモート等658件)
雇用実績：年度末集計

② 就職支援員による求職者向けの支援

キャリアカウンセラーにより、個別カウンセリング、適職診断及びセミナーを実施

令和6年11月末現在の状況

- ・相談件数：1,686件(全世代) ・新規登録者数：940人(全世代)
- ・就職者数：517人(全世代)

○就職氷河期世代支援に係る各相談窓口や支援制度等の広報活動

- ・就職氷河期世代支援のためのサイト運営

KPI項目	実績累計	進捗率
ハローワーク紹介による正社員就職件数		0.0%
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数		0.0%

※令和5年度分+令和6年11月末時点の実績

【長崎県(雇用労働政策課)】

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	第一ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする。	
	K P I 項目	目標値
第二ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数	30件
	職場体験等の実施件数	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	各年度4回 (HW長崎・佐世保で各年度2回)

【令和6年度取組状況等】

○地域サポートステーション委託事業

長期無業者の就労支援に向けた事業を地域若者サポートステーションへ委託

- ・巡回相談
- ・氷河期世代向けプログラム・カウンセリング実施
- ・参加者の旅費を助成(1ヶ月あたり2千円を超える実費)

K P I 項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数	117件	390.0%
職場体験等の実施件数	100件	625.0%
サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	0件	0.0%

※令和5年度分+令和6年11月末時点の実績

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度
支援対象者	(4) 全支援対象者

【令和6年度取組状況等】

- 就職氷河期世代支援PR
 - ・就職氷河期世代支援サイトの運営

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度
交付金事業	地方就職氷河期世代支援加速化交付金事業
目標	<p>第二ステージ</p> <p>【長崎県】 県人材活躍支援センターを中心に、地域若者サポートステーションと連携した就職氷河期世代の県内就職支援及び正規雇用への転換を促進するための事業を実施。(R5～R6年度)</p> <p>【五島市】 キャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。(R5～R6年度)</p>

【令和6年度取組状況等】

支援対象者①、②及び④と内容が重複するため省略

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度	
支援対象者	(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方等)	
目標	【第二ステージ】 ひきこもりの状態にある方やその家族が容易に相談できる体制を明確化することで、福祉的な支援を通じ、本人の社会参加につなげることを目標とする。	
	KPI項目	目標値
第二ステージ	県内全市町でのひきこもり相談窓口の明確化及び周知	21市町

【令和6年度取組状況等】

(福祉保健課)

1. 相談支援体制の充実

・ 自立相談支援機関等の関係機関が参加する支援会議等において、支援対象者の情報共有や個別支援課題の検討等を実施。

2. 人材養成

・ 生活困窮者自立支援制度人材養成研修を令和7年1月9日に実施

【目的】 市町が実施する生活困窮者への支援の推進と質の向上

【対象者】 生活困窮者自立支援制度各種事業に従事している職員

【参加者数】 40名

【主な内容】 ひきこもり支援に関する講義等

3. 就労に向けた支援

・ 自立相談支援機関に就労支援員を配置し、就労に関する一般的なアドバイスやハローワークへの同行支援等を実施。

・ 就労に向けた準備が整っていない方に対して、日常生活自立、社会生活自立を目的として、基礎能力の形成から支援する就労準備支援事業を実施。(13市町)

(障害福祉課)

1 相談支援体制の充実

- ひきこもり地域支援センターでの個別相談（面接・電話）の実施
- 家族支援（教室・つどい）、当事者支援（居場所）の実施

2 ひきこもり支援関係機関の連携強化・資質向上

- 保健所担当者会議
日時：令和6年6月5日
- 長崎県ひきこもり支援連絡協議会
日時：令和7年2月3日（予定）
- 精神保健福祉専門職専門職研修会
日時：令和6年9月9日
- ひきこもり支援関係者スキルアップ研修会
日時：令和7年2月（予定）

K P I 項目	実績累計	進捗率
県内全市町でのひきこもり相談窓口の明確化及び周知	16市町	76.2%

※令和5年度分+令和6年11月末時点の実績

【長崎若者サポートステーション】

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	第一ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする	
KPI項目		目標値
第二ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数	30件
	職場体験等の実施件数	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	各年度4回 (HW長崎と各年度2回)

【令和6年度取組状況等】

2024年11月現在、長崎サポステ地域で新たに職場体験を開拓した企業数は14社である。

氷河期世代等就職困難な方々に対応できるよう、サポステの利用者特徴を、体験に際して緊張が見られることなどを丁寧に説明し、人手不足解消ではなく、社会貢献として受け入れていただくようお願いして承諾いただいた企業である。

開拓をすすめ、11月現在長崎サポステでは67社の体験先があり、39件の体験を実施している。

また、サポステとハローワークとの連携体制をより強化すべく、ヤングハローワーク長崎との間で、11月12日に職員様向け説明会を合計2回実施したほか、長崎県事業での各ハローワークへの巡回相談会では、担当職員とサポステとでケース等の共有ができるような時間を設けている。

KPI項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数	117件	390.0%
職場体験等の実施件数	100件	625.0%
サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	5回	125.0%

※令和5年度分+令和6年11月末時点の実績
(職場体験関係実績は佐世保サポステとの合算)

【佐世保若者サポートステーション】

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度	
支援対象者	(2) 長期にわたり無業の状態にある方	
目標	第一ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする	
	KPI項目	目標値
第二ステージ	サポステ等による職場体験等先の確保数	30件
	職場体験等の実施件数	16件
	サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	各年度4回 (HW佐世保と各年度2回)

【令和6年度取組状況等】

令和6年度の佐世保サポステでは、これまでに引き続きハローワークとの連携を強化してきました。就職氷河期世代のうち長く無業者の方々それぞれに合わせた支援を図っていくよう考えています。最近ではハローワーク江迎でのサポステの巡回相談で積極的な情報共有を行うことにより、困難ケースにおいても段階的な支援体制を整備しています。また、西海市社会福祉協議会との連携ケースでは、社会資源のさらなる必要性が課題であった西海市においてもサポステが社会資源の一つとして活用されることが今後は見込まれます。

そして壱岐対馬の在駐スタッフとのケース会議をオンラインで実施し、困難ケースの共有を積極的に行っています。壱岐対馬においては在駐スタッフが一人体制のため、一人でケースを抱え込むのではなく、佐世保サポステとのスタッフと共有し様々な意見交換ができる機会を確保しています。

職場体験については、サポステのネットワークを活用するだけでなく職場体験希望者の意向に沿った職場を開拓するよう取り組んでいます。

今年度になって氷河期世代登録者は増加傾向にあります。特に行政や医療からのリファアが増加しており、それに伴い多角的視点での支援アプローチの重要性を感じています。支援の質向上のため、外部研修の参加やスタッフ研修を取り入れています。

KPI項目	実績累計	進捗率
サポステ等による職場体験等先の確保数	117件	390.0%
職場体験等の実施件数	100件	625.0%
サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換等の実施回数)	6回	150.0%

※令和5年度分+令和6年11月末時点の実績
(職場体験関係実績は長崎サポステとの合算)

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況【第二ステージ】

取組年度	令和6年度
交付金事業	地方就職氷河期世代支援加速化交付金事業
目 標	<p>第二ステージ</p> <p>【長崎県】 県人材活躍支援センターを中心に、地域若者サポートステーションと連携した就職氷河期世代の県内就職支援及び正規雇用への転換を促進するための事業を実施。（R5～R6年度）</p> <p>【五島市】 キャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。（R5～R6年度）</p>

【令和6年度取組状況等】

地域就職氷河期世代就労支援事業（五島市）

（1）就労支援事業

令和6年度は、前年度の事業で支援を希望するとし就労に結び付かなかった38名と新たに支援を希望する18名の就職氷河期世代の方に対し、継続して五島若者サポートステーションなどを運営するNPO法人心澄（しんじょう）に就労支援業務を委託している。

キャリアコンサルタントによる支援については、興味検査、職業適性検査、グループワーク、個別面談、職場見学、職場体験、求人検討、ハローワークへの同行、履歴書添削、面接指導を実施。興味検査や職業適性検査により対象者の状況を把握した上で、グループワークや職場見学などにより就労を促進。

現在、346回以上の面談を実施し、13名の就労に結び付けている。（R6.11月現在）

令和6年度 九州経済産業局における 就職氷河期世代人材の確保・活用支援実績

2025年1月

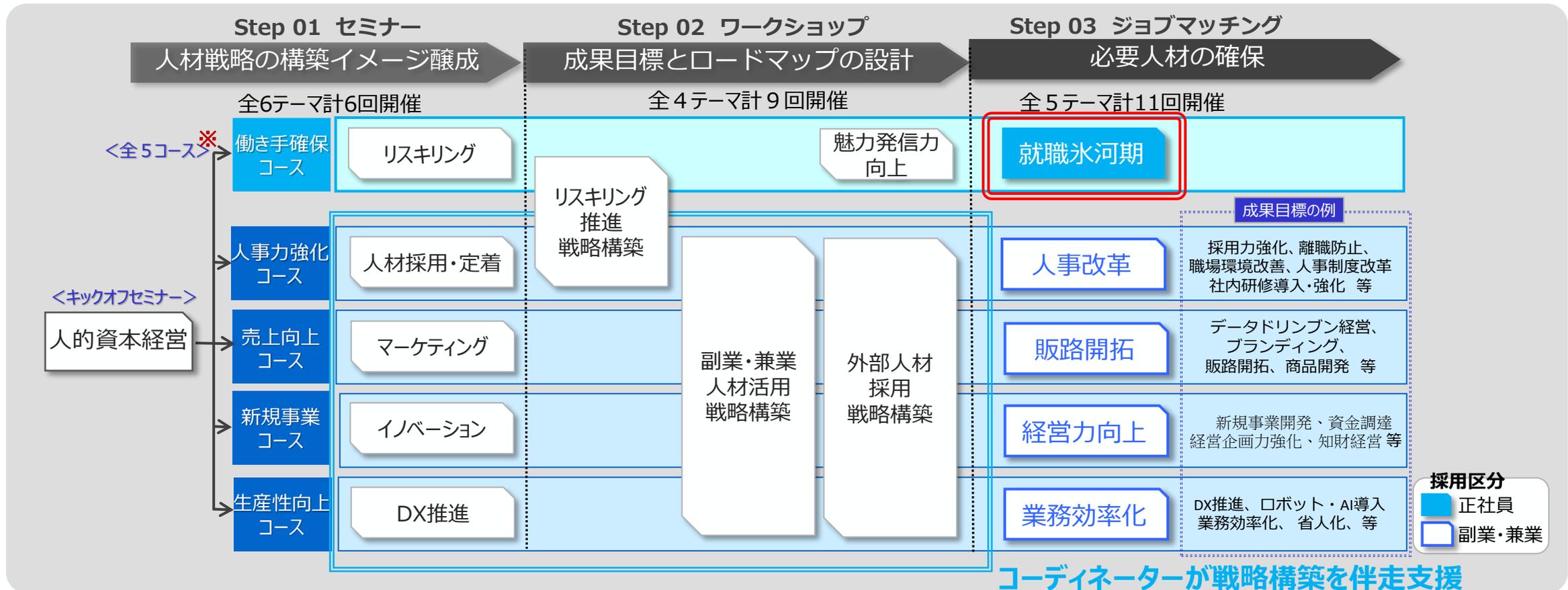
九州経済産業局

産業人材政策室

就職氷河期世代人材の確保・活用支援について

人材戦略パッケージプログラム2024

地域中小企業等の課題解決や持続的成長に必要な人材の確保に向けた支援として、人材戦略パッケージプログラムを展開する。就職氷河期世代人材向けの支援(下図赤枠)では、**キャリアデザイン講座**や地域中小企業等との**ジョブマッチング**を実施する。



就職氷河期世代人材の確保・活用支援について

キャリアデザイン講座・ジョブマッチング（概要）

オンライン1回（長崎、熊本、鹿児島を対象に同日開催）、対面2回（福岡、大分で各1回開催）の計3回を実施する。
人材に対しては主に「正社員として働くメリットやキャリアプラン形成の重要性」を伝え、**就職意欲等の向上**や**就職活動の積極化**を促す。

■ 日程

長崎・熊本・鹿児島

令和6年8月31日(土) 13:00～15:00 オンライン開催

福岡

令和6年9月7日(土) 13:00～15:00 福岡商工会議所

大分

令和6年9月28日(土) 13:00～15:00 コンパルホール

■ 概要

キャリアデザイン講座 60分

- ①九州の労働市場の特徴と
就職氷河期世代の転職実態
- ②企業を取り巻く事業環境の変化
による採用観の変化
- ③戦略的キャリアデザインプラン

ジョブマッチング 60分

- ①企業から人材へのプレゼン会
※約20分×複数回（対面はブース形式）
※人材側は出入り自由
- ②企業と人材のマッチング会
※プレゼン会(質疑含む)の後、
希望者による個別での面談会

適性検査フィードバック 15分/人

- 希望者に対し、講師が**適正検査結果へのアドバイス**等を実施
※適性検査は事前受験
※対面はジョブマッチングと並行、
オンラインは別日に実施

就職氷河期世代人材の確保・活用支援について

キャリアデザイン講座・ジョブマッチング（実績）

全3回で企業33社と人材103名が参加し、鹿児島県内からは企業定員5社に対し3社の出展となった。（2社が直前辞退）

- 企業 採用方法では**79%(26社)**が民間サービスを利用し、採用状況では**88%(29社)**が正社員確保に不足感を示した。
- 人材 就労状況※は、**正社員51%(45名)**、非正規29%(26名)、無職20%(18名)であった。※有効回答89/103

イベントタイトル	開催日時	開催方法	参加企業数	企業満足度	参加人材数	人材満足度
【正社員】就職氷河期世代人材採用 オンライン（長崎/熊本/鹿児島）	8/31(土)	オンライン	11	100%	27	73%
【正社員】就職氷河期世代人材採用 福岡会場	9/7(土)	対面	14	100%	52	98%
【正社員】就職氷河期世代人材採用 大分会場	9/28(土)	対面	8	71%	24	95%
合計	3回	-	33	90%	103	89%



参考：「人材」参加者の声

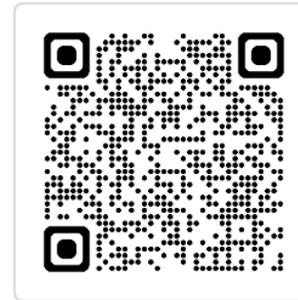
- 講座の内容が**具体的で参考**になった。
- ◎ 面談のアドバイスによって**自信**を得た。
- 企業と**双方向で対話**する機会があって良かった。
- ▲ 魅力的な企業が少なかった。
- 各企業と話す**時間確保に工夫**がほしかった。

参考：「企業」参加者の声

- 想定よりも**多くの人材と接点**を形成できた。
- ◎ 人材の会話力が高く、**採用意欲が高まった**。
- もっと開催してほしい。
- ▲ 参加者が**消極的な印象**であった。
- イベント後、採用に向けた**フォロー**が欲しい。

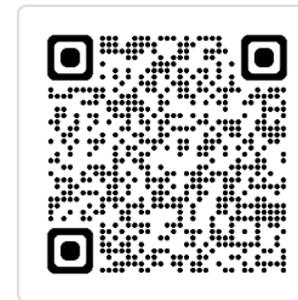
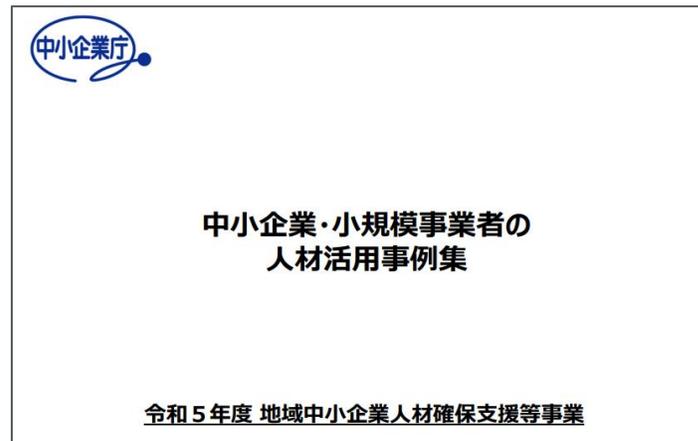
参考 活用事例集

▼ 人材戦略パッケージプログラム2023活用事例集



https://www.kyushu.meti.go.jp/jirei/jinzai/240418_1.html

▼ 中小企業・小規模事業者の人材活用事例集(令和5年度)



<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/koyou/hitodebusoku/index.html>

本資料に関するお問い合わせ先

九州経済産業局 地域経済部 地域経済課 産業人材政策室

TEL : 092-482-5504

Mail : bzl-kyushu-jinzai@meti.go.jp

◆令和7年度における就職氷河期世代等支援関連施策について

* これまでの支援(取組)

- ・「経済財政運営と改革の基本方針2023」(R5. 6. 16閣議決定)
- ・「就職氷河期世代支援に関する行動計画2024」(R5. 12. 26関係府省会議決定)



* 国の今後の方向性

- ・第8回就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議(R6. 4. 26)
- ・「経済財政運営と改革の基本方針2024」(R6. 6. 21閣議決定)
- ・「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」(R6. 11. 22閣議決定)
- ・第6回就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム(R6. 12. 25)

別紙 1



* 厚生労働省における支援(取組)方針(予定)

- ・これまでの実績や効果を踏まえた所要の見直しを図りつつ**就職氷河期世代を含めた中高年世代支援を実施。**

● 具体的には…

1 支援対象者の拡大

就職氷河期世代と限定せず、広く**中高年世代(おおむね35歳から59歳まで)の不安定就労者・無業者へと対象を拡大**し支援の効果を高める。

2 都道府県プラットフォームの改称 [人材開発統括官]

就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームとして構成された協議体を**継承**することを原則としつつ、「**都道府県協議会**」として**名称を改め**、引き続き、官民協働の下地域の実情・課題を踏まえた取組を促す。

別紙 2

3 委託事業の見直し [人材開発統括官]

現行の「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援事業」を「中高年世代活躍応援プロジェクト」へ移行。令和7年度以降は広く「中高年不安定就労者・無業者」に対して、現行事業の改善を踏まえた内容を実施。

別紙 2

4 就職氷河期世代職場体験・実習(インターンシップ)事業の縮小

全国一律での実施は廃止。

5 就職氷河期世代活躍支援専門窓口の見直し [職業安定局]

全国の主要ハローワークに設置している現行の専門窓口を**就職氷河期世代を含むミドルシニアの就職支援**のために見直し、就職から職場定着まで一貫して支援。

別紙 3

6 特定求職者雇用開発助成金の見直し [職業安定局]

就職氷河期世代安定実現コースを廃止し**中高年齢者安定雇用支援コース(仮称)を新設。**

別紙 4

※非正規労働者の正社員転換等に資するキャリアアップ助成金は継続 [雇用環境・均等局]

● 構成員の皆様をお願いしたいこと

1 都道府県協議会への参画

- (1) 上記のとおり新たな協議会の構成員として引き続き連携いただきたいこと
- (2) 依頼文書については厚労本省から具体的な指示があり次第送付予定であること

2 第1回協議会の開催

- (1) 来年度早々の開催が想定されること
- (2) 現行の「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」にかわる新たなプランの策定
- (3) 委託事業内容に係る協議

以上

第6回就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム 議事次第

令和6年12月25日(水)
16:00～17:00
テレビ会議システムと現地のハイブリッド開催

議事

1. 就職氷河期世代支援施策の実施状況と支援の今後の方向性について

[配布資料]

資料1 就職氷河期世代の就業等の動向と支援の今後の方向性について

(内閣官房提出資料)

資料2	堀有喜衣議員	提出資料
資料3	関水徹平議員	提出資料
資料4	大村秀章議員	提出資料
資料5	伊東香織議員	提出資料
資料6	宮脇正道議員	提出資料
資料7	工藤啓議員	提出資料
資料8	林恭子議員	提出資料
資料9	小林健議員	提出資料
資料10	森洋議員	提出資料
資料11	芳野友子議員	提出資料

参考資料1 就職氷河期世代支援策の実績とPDCAサイクルの取組状況について

参考資料2 就職氷河期世代の就業等の実態や意識に関する調査(概要)

3. 今後の方向性

○ 「経済財政運営と改革の基本方針2024」(令和6年6月21日閣議決定)(抄)

就職氷河期世代の就労支援は、5年間の集中的取組により、一定の成果を挙げている。来年度以降、就職氷河期世代への支援は、中高年層に向けた施策を通じて、相談、リ・スキリングから就職、定着までを切れ目なく効果的に支援するとともに、地方自治体と連携し、個々人の状況に合わせ、就労に向けたリ・スキリングを含む幅広い社会参加支援を行う。

○ 「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」(令和6年11月22日閣議決定)(抄)

これまでのリ・スキリング等の支援の成果を踏まえ、就職氷河期世代を含む中高年層について、地方公共団体と連携し、社会参加やリ・スキリングを含めた就労・活躍に向けた支援を行う。その際、就職氷河期世代については、共通の課題を抱える幅広い世代と併せて支援することによって、支援対象者にとっての選択肢を拡大し、政策効果を一層高める。



- **来年度以降、就職氷河期世代を含む中高年層について、社会参加やリ・スキリングを含めた就労・活躍に向けた支援を継続・充実する。**
(ハローワーク専門窓口での伴走型支援、雇い入れ等に関する事業主への助成金等)
- 「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」については、新設する「社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金」に統合し、その支援メニューを引き継ぎ、一部を拡充する。
(リ・スキリング事業及び自治体連携事業の補助率引き上げ:3/4→4/5)
- これらにより、共通の課題を抱える幅広い世代への支援の中で、対象者にとっての選択肢を拡大し、政策効果を一層高める。
(リ・スキリングの一環としての研修・講座等のメニューの充実、マッチング参加企業の拡大等)
- 施策の取りまとめは、内閣府就職氷河期世代等支援推進室(新設・仮称)で実施(予定)。交付金事務については、内閣府孤独・孤立対策推進室で実施。
➡ 内閣府として一体的に事務を遂行。

労働特会			子子特会	一般 会計
労災	雇用	徴収	育休	
	○			

1 事業の目的

- 就職氷河期世代を含む中高年世代には、非正規雇用期間が長く、正規雇用に比べて能力開発機会が乏しいため、処遇面も含めて現在も厳しい状況にあり、自己評価が低い傾向があるほか、就労・正社員化に向けた具体的な行動を起こせず諦めている方々が一定数存在。
- このため、本プロジェクトにより、地方自治体・国と民間団体が一体となり、中高年世代の方々の安定就労の実現を支援。
- 具体的には、
 - ・労働局、地方自治体、労働・経済の地元団体、訓練機関等支援機関をメンバーとする協議会が、人手不足分野や地元企業への就職の推進等、地域の実情・課題も踏まえた支援の方向性を取りまとめ、その具体化と実施を民間企業に委託。
 - ・委託を受けた民間企業は、民間企業ならではのノウハウを活かして支援事業のメニューを作成し、展開。
 - ・また、この取組みの成果を高めるため、社会参加から就職後の職場定着までの多岐にわたる支援をワンストップで本人や家族に届けるための広報事業を国が実施。

2 事業の概要・スキーム、実施主体等

周知広報事業
実施主体：民間企業

- ・チャットボットも含めたポータルサイトの運営
- ・インターネット/SNS広告
- ・ポスター・リーフレット 等

委託

厚生労働省

労働局

委託

都道府県協議会
協議会における
意見交換

連携

自治体

訓練機関等
支援機関

労働・経済団体

中高年世代活躍応援プロジェクト
実施主体：民間企業（委託）

- 個々人の状況に応じた就労相談
 - ・自治体が実施する就労支援事業等への送り出し
 - ・就職ニーズの把握、ハローワーク等への誘導
- 地域の実情・課題に即した各種イベントの実施
 - ・都道府県協議会の方向性を踏まえた、支援メニューの設定
 - ・人手不足分野や地元企業への就職の推進等、地域の実情・課題に即した中高年世代向け企業説明会・就職面接会の実施
 - ・能力開発施設や各種支援機関、中高年世代積極採用企業等への見学ツアーの実施等

安定就労

（調査研究※を踏まえたモデル的メニューの検討・実施）【拡充】

- ▶ 不安定な就労や無業を繰り返す中高年世代求職者に対する個別定着支援の実施
- ▶ 中高年世代積極採用企業に対する雇用管理セミナー、定着支援セミナーの実施
- ▶ 夜間・土日などの柔軟な訓練期間を設定する等、在職中の非正規労働者でも受講しやすい訓練メニューの紹介、見学会の開催
- ▶ 転職・再就職・復職に際して切れ間なく働き続けるための学びなおしの機会と方法に関するワークショップの開催
- ▶ オンラインサロン等の仕組みを活用した、当事者同士の交流のための場の提供
- ▶ 同世代の成功体験を共有できるような機会の提供
- ▶ グループカウンセリングやグループでの共同作業を通じた基礎的能力等の向上支援 等

※「就職氷河期世代のキャリアと意識」（2023年度JIL-PT調査研究）によれば、「定着支援」「職業訓練」「経験交流」の提供が有効であるとの政策的示唆がなされている。

事業実績

令和5年度 セミナー・就職面接会等実施回数 488回 ※

※「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援事業」実績

労働特会		子子特会	一般 会計
労災	雇用	徴収	
	○		

1 事業の目的

○ 就職氷河期世代を含むミドルシニアの不安定就労者の中には、職務経歴を積めていない、就職活動の失敗により自分に自信が持てないなど、様々な課題を抱えている者が多い。

○ こうした課題に対応するため、ハローワークに専門窓口を設置し、キャリアコンサルティング、生活設計面の相談、職業訓練のアドバイス、求人開拓等、それぞれの専門担当者がチームを結成し就職から職場定着まで一貫して支援。

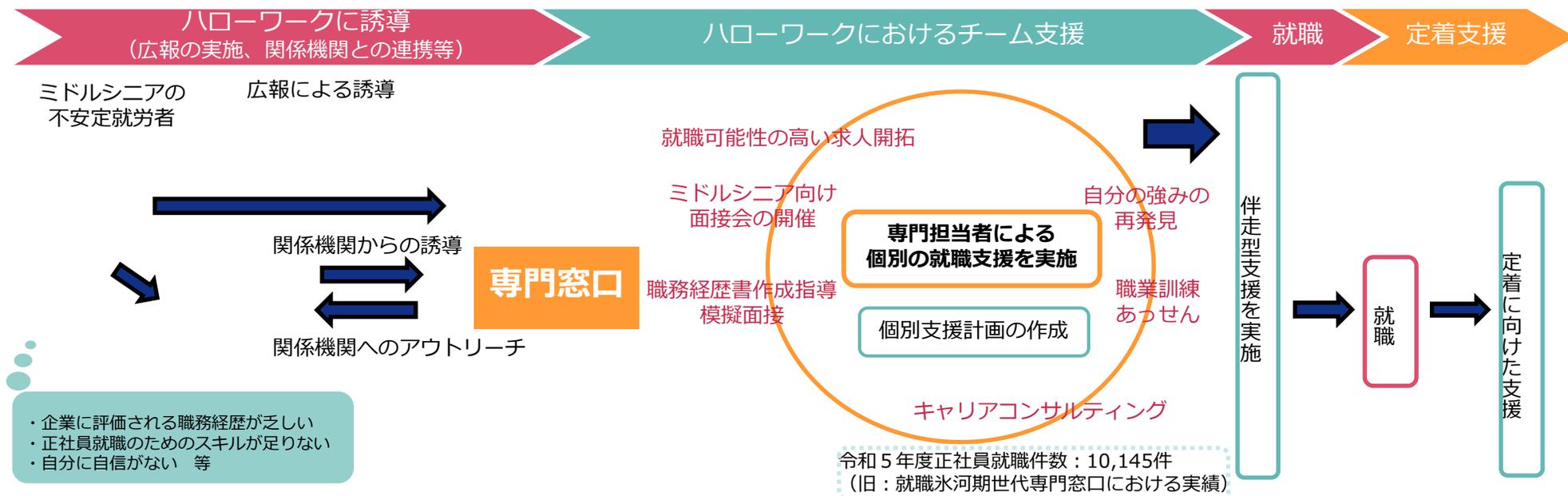
<専門窓口数> 92か所

<体制> 就労・生活支援アドバイザー：82人（主にキャリアコンサルティング、生活設計の相談、定着支援等を担当）

就職支援コーディネーター：142人（主に求人開拓、セミナー企画を担当）

職業相談員：144人（主に初回相談を担当）

2 事業の概要・スキーム・実施主体等



令和7年度当初予算案 **468**億円 (**469**億円) ※ ()内は前年度当初予算額

特定就職困難者コース 440億円 (410億円)

中高年齢者安定雇用支援コース (仮称) 9億円 (0億円)

就職氷河期世代安定雇用実現コース (経過措置) 20億円 (22億円)

昨年度限りの経費 0億円 (37億円)

労働保険特別会計			子育て会	一般会計
労災	雇用	徴収	育休	
	○			

1 事業の目的

高年齢者や障害者、就職氷河期世代などの就職が特に困難な者の雇用機会の増大を図るため、これらの者をハローワークや民間の職業紹介事業者などの紹介により、継続して雇用する労働者として雇い入れる事業主に対して助成する制度。

2 事業の概要

助成金の種類	対象労働者	助成内容	
		助成対象期間	支給額
特定就職困難者コース	・高年齢者 (60歳以上) ・母子家庭の母等 ・障害者 ・ウクライナ避難民等	1～3年	30～240万円 (2～6期に分けて支給)
中高年齢者安定雇用支援コース (仮称)	35歳～59歳の不安定雇用就労者	1年	30～60万円 (2期に分けて支給)

- ※ 中高年齢者安定雇用支援コース (仮称) を令和7年度から新設
- ※ 就職氷河期世代安定雇用実現コースは、令和6年度限りで廃止。
(経過措置分のみ要求)
- ※ 助成対象期間や支給額は、対象労働者、企業規模等によって異なる。
- ※ 支給額は、支給対象期 (6か月) ごとに対象労働者が行った労働に対して支払った賃金額を上限とする。

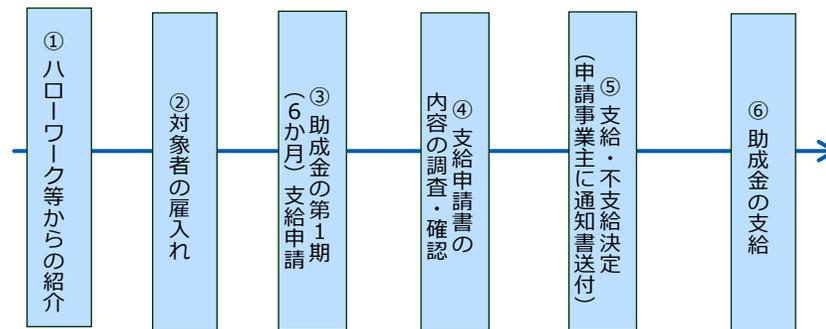
3 実施主体等

実施主体：国

事業実績：支給決定件数 (令和5年度)

- ・特定就職困難者コース：139,788件
- ・就職氷河期世代安定雇用実現コース：7,281件

事業スキーム



※第2～6期支給申請も同様の手続きが必要

ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン

(改定案)

令和2年 10月

(令和3年6月改定)

(令和5年2月改定)

(令和7年1月改定)

ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム

目次

はじめに.....	1
1. ながさき就職氷河期世代活躍支援プランの計画期間及び進捗管理.....	3
2. 支援対象者.....	3
3. 長崎県の現状と目指すべき方向性.....	4
4. 目標、KPI及び取組.....	6
(1) 不安定な就労状態にある方.....	6
(2) 長期にわたり無業の状態にある方.....	8
(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）....	10
(4) 全支援対象者.....	11
5. ながさきPFと地域との連携.....	12
6. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業.....	12
7. 社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業(仮称).....	13
8. その他.....	13
【別添】地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧.....	14
【別添2】社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業(仮称)一覧..	15

はじめに

【第一ステージ】

- いわゆる就職氷河期世代（概ね1993年（平成5年）～2004年（平成16年）に学校卒業期を迎えた世代を指す。以下同じ。）は、現在、30代半ばから40代後半（2020年4月1日現在、大卒で概ね38歳～49歳、高卒で概ね34歳～45歳）に至っている。雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けて支援を必要とする状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。

- このように、就職氷河期世代への支援は喫緊の課題であることから、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2019」（令和元年6月21日閣議決定。）において、就職氷河期世代の活躍促進に向けた取組をとりまとめるとともに、厚生労働省においても、厚生労働大臣を本部長とする「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部」において、「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」（令和元年5月29日とりまとめ。以下「支援プラン」という。）を策定し、就職氷河期世代が抱える固有の課題や今後の人材ニーズを踏まえつつ、個々人の状況に応じた支援により、正規雇用化をはじめとして、同世代の活躍の場を更に広げられるよう、3年間で集中的に取り組むこととした。

- 長崎県においては、支援プランに基づき、県内の関係機関を構成員とし、県内の就職氷河期世代の活躍支援策をとりまとめ、進捗管理等を統括する「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「ながさきPF」という。）を令和2年6月29日に設置した。
ついては、ながさきPFにおいて「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」（以下「ながさき支援プラン」という。）を策定するとともに、就職氷河期世代の方々が活躍の場を更に広げるために、県内の社会気運を醸成し、好事例の横展開を図りつつ、各界が一体となって、ながさき支援プランに基づく各取組を継続的に推進している。

【第二ステージ】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、就職氷河期世代の方々を巡る雇用情勢は厳しい状況となったが、政府の支援策は就職氷河期世代の方々の正規雇用者数の増加に寄与した。
一方、正規雇用から失業に転じる方々も生じるなど、施策の効果が相殺された側面もあると考えられ、正規雇用者数は伸び悩んだ。このため、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針2022」（令和4年6月7日閣議決定。）において、令和4年度までの3年間の集中取組期間を「第一ステージ」と捉え、令和5年度からの2年間の「第二ステージ」と位置付け、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効率的な支援に取り組み、成果を積み上げ、就職氷河期世代への支援をさらに進めて

いくこととしている。

- 長崎県においては、第二ステージも引き続き、ながさきPFを継続するとともに、各界が一体となって、個々人の状況に合わせたより丁寧な支援に取り組むため、ながさき支援プランを改定し、これに基づく各取組を継続的に推進していくこととする。

1. ながさき就職氷河期世代活躍支援プランの計画期間及び進捗管理

【第一ステージ】

- ながさき支援プランの計画期間は、令和2年10月26日～令和5年3月31日までとする。

【第二ステージ】

- ながさき支援プランの計画期間は、令和5年4月1日～令和7年3月31日までとする。
- ながさき支援プランの着実かつ効果的な推進を図るため、個々の取組や進捗状況をながさきPF事務局にて把握し、ながさきPF会議において共有するとともに、取組の進捗を踏まえた今後の施策展開の方向性等を協議する。
なお、その進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画内容を見直すこともあり得る。

2. 支援対象者

- ながさき支援プランは、次の①～③に掲げる方々を支援対象者とする。
支援に当たって、就労を希望される方には、正社員化及び正社員就職の実現を目指すものである。
なお、個々人の希望や意欲・能力に応じた雇用形態や待遇の実現及び社会参加へ向けて支援することや、①～③の類型にかかわらず各支援機関が連携して取り組むことが重要である点に留意する必要がある。
 - ①不安定な就労状態にある方
 - ・ 正規雇用を希望しながら非正規雇用で働いている方
 - ・ 前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する失業中の方など
 - ②長期にわたり無業の状態にある方
 - ・ 無業の方のうち求職活動をしていない方で、家事も通学もしていない方など
 - ③社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方など）
 - ・ ひきこもりの状態にある方、生活困窮に陥っている方など、就労支援だけでなく、保健医療や福祉的な支援を必要としている方

3. 長崎県の現状と目指すべき方向性

- 長崎県内における支援対象者の現状については、総務省の「就業構造基本統計調査（2017年）」を基にした推計¹によると①不安定な就労状態にある方（35～44歳）5,300人（人口比3.3%）、②長期にわたり無業の状態にある方（35～44歳）は4,257人（人口比2.7%）と推計され、全国平均（人口比各3.1%、2.3%）より高い状況にある。③社会参加に向けた支援を必要とする方については、内閣府が実施した調査結果²から推計すると、本県の15歳から64歳のひきこもりの方は、約1万人に上る。

- これらの方々の当面の目標として考えられることは、働くことや社会参加など多様である。
また、生活の基盤を置く地域の実情も多様であることから、個々人の状況に応じた支援メニューを積極的に届けていかなければならない。そのためには、当事者やその家族の置かれている状況やニーズをしっかりと受け止めるという姿勢を、社会全体に浸透させるよう取り組んでいくことが不可欠である。

- 支援対象者である「不安定な就労状態にある方」、「長期にわたり無業の状態にある方」、「社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）」は明確に区分できない場合も想定される。
また、その状態も時とともに変化していくものであることから、当事者とその家族を中心とした柔軟な支援を行うためには、関係機関が連携して、多様で複合的な課題やニーズに対応する必要がある。

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業活動及び雇用への一定の影響が生じることが懸念されており、特に、急激な事業変動の影響を受けやすい①不安定な就労状態にある方については、その解雇・雇止めにより、生活の基盤となる職場を失

¹ 総務省「就業構造基本統計調査（2017年）」

JILPT「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③」

・「不安定な就労状態にある方」：現在非正規雇用で働いており、かつ、現在の雇用形態に就いている理由について「主に正規の職員・従業員の仕事がないから」と答えた者

・「長期にわたり無業の状態にある方」：非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。就業構造基本統計調査の公表値ではないため、JILPTが特別集計したデータを利用している。

² 平成27年12月 内閣府「若者の生活に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」

平成30年12月 内閣府「ひきこもりに関する調査」

上記調査結果を基に、県内人口で按分

うおそれがあるとともに、②長期にわたり無業の状態にある方や③社会参加に向けた支援を必要とする方についても、応募機会が少なくなることなどが危惧される。

今後の雇用情勢の変化に留意しながら、第二の就職氷河期世代を作らないための取組等とあわせて、社会全体で支援対象者を支える気運を醸成していくことが重要である。

- これらを踏まえ、就労や処遇の改善、社会参加を促す中で、必要な人に必要な支援が届く体制を構築するために、ながさき PF は、他の関係機関とも連携して取り組んでいくこととする。

4. 目標、KPI³及び取組

(1) 不安定な就労状態にある方

① 第一ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について、現状よりも良い処遇を目指すため、支援対象者の正規雇用者数を 3,000 人⁴増やすことを目標とする。

【KPI】

項 目	KPI
ハローワーク紹介による正社員就職件数	2,400件
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	600人

② 第二ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

第一ステージの状況を踏まえ、正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について、引き続き正規雇用者数を目標とする。

【KPI】

項 目	KPI
ハローワーク紹介による正社員就職件数	2,000件
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	160人

【取組】

(相談体制の充実)

- ハローワーク長崎に、専門窓口として「就職氷河期世代支援コーナー」を設置し、専門アドバイザー等で構成するチームによる個別支援のマッチング促進及び職場定着を図る。

【労働局】

³ KPI：重要業績評価指標（Key Performance Indicator）の略。目標の進捗を把握するための指標。

⁴ 総務省「就業構造基本統計調査（2017年）」等より
「不安定な就労状態にある方」長崎県 5,300 人 / 全国 541,700 人 × 100 ÷ 1.0%
30 万人（国の目標） × 1.0% = 3,000 人（長崎県の3年間の目標）

- 県人材活躍支援センターにおいて、就職支援員による就職支援のためのカウンセリングや、採用力向上支援員による就職氷河期世代対象の求人開拓及び企業向けセミナー等の支援を行う。

【長崎県産業労働部】

- 概ね44歳以下の若者を対象とする「フレッシュワーク」において、カウンセリングや適職診断等のサービスを提供する。

【労働局、長崎県産業労働部】

(職業訓練の実施・強化、スキルアップ支援)

- 短期間で資格取得可能な就職氷河期世代の方向けの「短期資格等習得コース」等の個々人のニーズに応じた公共職業訓練に関する情報提供、アドバイス及び講あっせんを行う。

【労働局（第一ステージをもって終了）】

- 離職者、求職者、在職者それぞれのニーズに対応し、安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公共職業訓練の実施等によるスキルアップや新たなキャリアへの挑戦を支援する。

なお、訓練コース等の設定に当たっては、正社員就職のために資する内容とするよう配慮する。

【労働局、長崎県産業労働部、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構】

(就職、正社員への転換支援)

- 支援対象者に対するマッチングイベント（企業の説明会、就職面接会、職場見学会、セミナー等）を開催（後援・共催を含む）する。

【九州経済産業局、労働局】

- 就職氷河期世代の非正規雇用労働者の正規雇用促進を図るため、拡充されたトライアル雇用助成金や特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）等の周知及び活用促進に連携して取り組む。また、企業内での正社員転換等の取組を促進するため、キャリアアップ助成金や人材開発支援助成金等の周知及び活用促進に連携して取り組む。

【経済団体、労働局、長崎県産業労働部、長崎市商工部、佐世保市観光商工部】

- 就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）、マッチングイベント等の取組について、業界団体や企業等への要請を行うとともに、好事例の収集・提供など必要な支援を行う。

【労働局、長崎県産業労働部】

- 企業における就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組を促進する。

【経済団体】

- 就職氷河期世代を対象とした正社員化を含む処遇改善等に係る働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会長崎県連合会】

(2) 長期にわたり無業の状態にある方

① 第一ステージにおける目標及び KPI について

【目標】

就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を中心に関係機関が連携し、職業的自立支援につなげることを目標とする。

【KPI】

項目	KPI
サポステの支援により就労等につながった割合	35%
サポステレベル ⁵ が上がった方のレベル数	300レベル

② 第二ステージにおける目標及び KPI について

【目標】

第一ステージの結果を踏まえて、就業を希望しながら様々な事情により長期にわたり無業の状態にある方については、本人や家族の希望に応じた職場体験等を

⁵ サポステレベル

レベル1：働くこととする意志はあるものの、働くことについてイメージができない。

レベル2：働くことについて漫然としたイメージしかできない。まだ明確な方向性を持つに至っていない。

レベル3：働くことについての方向性が見えていて、情報収集できる。しかし、就職に向けての行動には移せていない。

レベル4：働くことについての方向性が見えていて、就職に向けての行動に移すことができる。しかし、通常ハローワークが取り扱う求人への就職に向けて対応できない。

実施することにより、職業的自立支援につなげることを目標とする。

【KPI】

項 目	KPI
サポステ等による職場体験等先の確保数	30 件
職場体験等の実施件数	16 件
サポステとハローワークとの連携体制の強化 (意見交換会の実施回数)	各年度4回 (長崎・佐世保で各年度2回)

【取組】

(相談体制の充実)

- サポステの支援対象年齢を49歳まで広げるなどの機能強化を図り、専門相談員によるカウンセリング、セミナーの実施等により、支援対象者の職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

また、福祉関係機関（生活困窮者自立支援制度の自立相談支援機関（以下「自立相談支援機関」という。）、福祉事務所、ひきこもり地域支援センター等）等での出張相談において支援対象者を把握し、ハローワーク、フレッシュワーク、県人材活躍支援センター及び県子ども・若者総合相談センター（ゆめおす）等との連携により個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援につなげる。

【労働局、長崎県産業労働部・福祉保健部】

- サポステ拠点のない地域での巡回相談やサポステプログラムに参加する支援対象者への旅費支援を行い、支援対象者のサポステ利用を促進する。

【長崎県産業労働部】

(職場体験・見学、就労に向けた支援)

- 支援対象者に対するイベント（就職準備セミナー、職場見学・体験等）を開催する。

【労働局、長崎県産業労働部・福祉保健部】

- 長期にわたり無業の状態にある方に係る職場定着支援など受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例の収集・提供など必要な支援を行う。

【労働局、長崎県産業労働部・福祉保健部】

- 長期にわたり無業の状態にある方に係る職場定着支援など、企業における受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等の取組を推進する。

【経済団体】

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの方等）

① 第一ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

当事者やその家族の希望に応じ、地域における居場所の整備、その他対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりが生まれることを目標とする。

【KPI】

項目	KPI
県内全市町での地域 PF の設置	21市町

② 第二ステージにおける目標及びKPIについて

【目標】

ひきこもりの状態にある方やその家族が容易に相談できる体制を明確化することで、福祉的な支援を通じ、当人の社会参加につなげることを目標とする。

【KPI】

項目	KPI
県内全市町でのひきこもり相談窓口の明確化及び周知	21市町

【取組】

（相談支援体制の充実）

- ひきこもり状態にある方やその家族が、お住まいの地域で容易に相談できる環境を整備するために、市町での相談窓口を明確化した上で、広報等により住民への周知を図る。

【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会】

- ひきこもりの状態にある方やその家族からの相談等に対応するため、各地域におけるひきこもり支援協議会等の既存の会議体等と、支援に係る関係者間の情報共有や個別支援課題の検討を行う。

【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会】

- 地域の活動活性化のため、好事例の横展開などの積極的な協力を行う。
【長崎県福祉保健部、長崎県市長会、長崎県町村会】
- ひきこもり地域支援センターで、市町の窓口や関係機関と連携し、ひきこもり状態にある方やその家族への取組を支援する。
【長崎県福祉保健部】
- 自立相談支援機関に、訪問による相談支援を行うアウトリーチ支援員を配置するなど、ひきこもり家庭に対する訪問支援体制を強化する。
【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会】
- 安心できる居場所づくりや家族教室、相談会の開催など、本人や家族の状況に合わせた支援を行う。
【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会、長崎県市長会、長崎県町村会】

(相談支援に係る人材の育成、資質向上)

- ひきこもり地域支援センターによる支援者向けの研修会などにより、支援に係る人材の育成、資質の向上を図る。
【長崎県福祉保健部、長崎県社会福祉協議会】

(職場体験・見学、就労に向けた支援)

- 社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備について、業界団体や企業等へ要請を行うとともに、好事例等の収集・提供など必要な支援を行う。
【労働局、長崎県産業労働部・福祉保健部】
- 社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備に係る取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をながさき PF に提案する。
【経済団体】
- 社会参加に向けた支援を必要とする方に係る受入体制整備（職場体験・実習等の機会確保を含む）等への取組について働きかけを行う。
【日本労働組合総連合会長崎県連合会】

(4) 全支援対象者

【取組】

- ながさきPFの取組や活動等について、市町や各団体の構成企業・団体等に積極的に周知・啓発を行うことにより、社会全体で就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る。

【全構成員】

- 就職氷河期世代の方の就労意欲や企業の採用意欲の向上等を図るため、それらの方々を対象とした就職氷河期世代活躍支援講演会を開催する。

【長崎労働局（第一ステージをもって終了）】

- 支援対象者が抱える課題や希望等を把握するとともに、県内企業の就職氷河期世代採用意欲を確認するため、アンケート等による実態調査を実施する。

【長崎県産業労働部（第一ステージをもって終了）】

- 支援対象者一人ひとりに各種施策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、あらゆる手段（メディア、SNS、WEB、イベント開催等）を活用し、家族、関係者も含め効果的に伝わる周知・広報策を展開する。

【全構成員】

5. ながさきPFと地域との連携

- ながさきPFは、地域の効果的かつ円滑な運営のために、地域からの支援要請に対して適切に対応するとともに、好事例等の就職氷河期世代支援に関する情報についてはこれを共有し、双方緊密な連携を図ることとする。

6. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業

- 長崎県又は長崎県内市町が実施する「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」の事業内容については、別紙「地域就職氷河期世代支援加速化交付金一覧」のとおりとする。
- 別紙「地域就職氷河期世代支援加速化交付金一覧」への追記又は変更を行なう場合は、次のいずれかの方法によることとする。
 - ① 長崎県から、事前にながさきPF構成員の包括的な承認を得た上で、同交付金の追加・変更申請時に別紙を修正するとともに、当該構成員にその修正内容を通知することで、ながさき支援プランの改定が行なわれたものとする。
 - ② 長崎県から、同交付金の追加・変更申請時ごとに、持ち回りなどの手続きにより、ながさきPF構成員にその修正内容の承認を得ることで、ながさき支

援プランの改定を行なう。

7. 社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業(仮称)

- 本プランの後継となる「ながさき中高年世代活躍支援プラン(仮称)」において、長崎県又は長崎県内市町が実施する「社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金(仮称)」の事業内容については、別紙「社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業(仮称)一覧」のとおりとする。

8. その他

- ながさき支援プランの実施に当たり、課題、疑義等が生じた場合は、ながさきPF内の構成員で協議を行うとともに、関係機関に対しても情報共有を行うこととする。

ながさき支援プランについては、毎年度の実施状況を踏まえた見直しを行うことがある。

なお、ながさき支援プランの記載のうち、長崎労働局及び長崎県の取組にかかる記載については、今後の予算審議等の状況により修正・変更等があり得る。

(改定)

- 令和3年6月23日 ・【別紙】地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧にNo.2の事業を追記。
- 令和5年2月28日 ・ながさき支援プランに計画期間の延長及び諸処の修正・追記。
・「第二ステージ」における各目標・KPIについて追記。
・【別紙】地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧に【第二ステージ】における計画期間及び計画内容について追記。
- 令和7年1月23日 ・【別紙2】を追記。

【別紙】

地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

No.	実施主体	事業名	事業の概要	計画期間
第一ステージ				
1	長崎県	就職氷河期世代人材マッチング事業	県人材活躍支援センターを中心に、地域若者サポートステーションと連携した就職氷河期世代の県内就職支援及び正規雇用への転換を促進するための事業を実施。	R2～R4 年度
2	五島市	就職氷河期世代就労支援事業	就職氷河期世代の実態把握のためのアンケート調査及びキャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。	R3～R4 年度
第二ステージ				
1	長崎県	就職氷河期世代人材マッチング事業	県人材活躍支援センターを中心に、地域若者サポートステーションと連携した就職氷河期世代の県内就職支援及び正規雇用への転換を促進するための事業を実施。	R5～R6 年度
2	五島市	就職氷河期世代就労支援事業	キャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。	R5～R6 年度

【別紙2】

社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業(仮称)一覧

No.	実施主体	事業名	事業の概要	計画期間
1	五島市	就労支援事業	地域若者サポートステーションに来所している無業、非正規雇用及びひきこもり状態にある就職氷河期世代や中高年層を含む幅広い世代を対象としたキャリアコンサルタントによる支援（グループワーク・個別面談・求人検討等）を実施。	R7年度